

春を待つ人
カミツキマガウタ
聖女陵辱妄想
追憶の刺激
ロスタイム
獅子の涙
夜に咲く魔法



夜に咲く魔法

Fate/2004 Rewind+



夜に咲く魔法 Fate/2004 Rewind+





P3~4「焼け野が原」(未発表)表紙イラスト

色んな事情でオクラ入りになったアチャ凧本の表紙イラスト。

今回アチャ凧のイラスト率が高いのは、そーゆー事です。

…つ、使いまわし…。

こんにちは、お久しぶり、始めまして。さきうららです。

Fate の再録・総集編+お買い上げ下さって有難う御座いました。

2004 年は Fate の年でした。この作品を期に絵柄を変えて、

基本的に描いた時系列に沿って編集してみたので、その変換というか、

こなれていく様が見て取れるかもしれません(苦笑)

あとお友達のアナミさん(このシトが居なかったら、うらら Fate やってなかったよ…)

と組んで作ったアチャ凧本「地獄の季節」からは再録していません。

というわけでこの本、凧度数が低いので、イラストは凧とアチャ仕様となっております。

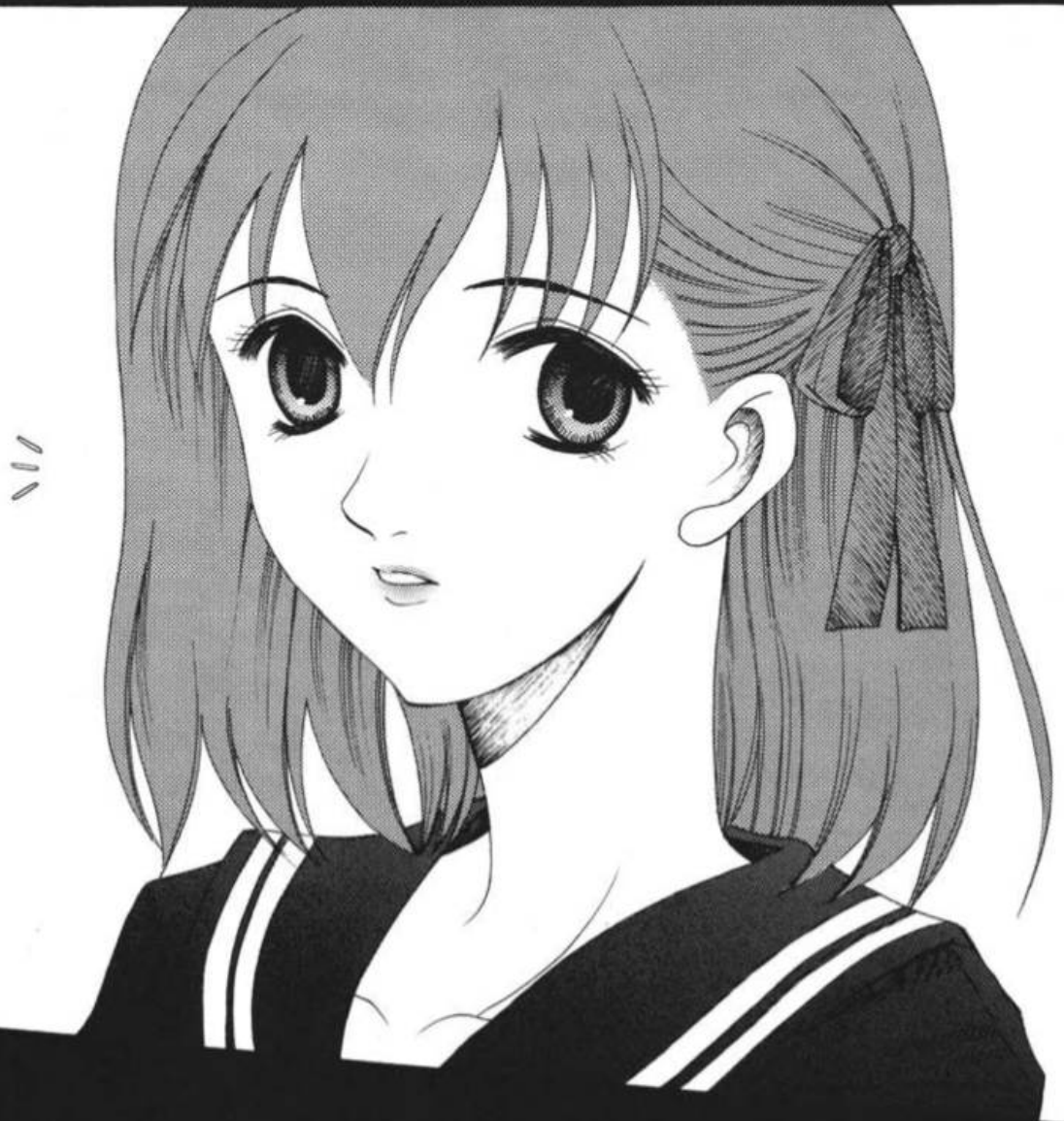
ご了承下さいな。それではかるーく読んじやって下さいまし。

春を待つ人



裂いた裂いた
桜が裂いた
裂かれた心は
血を流し
桜を真っ赤に染め上げました

好きな人が居ました



初めて彼を見たのは
学校の放課後

ただ

彼は無理と
判っているのに

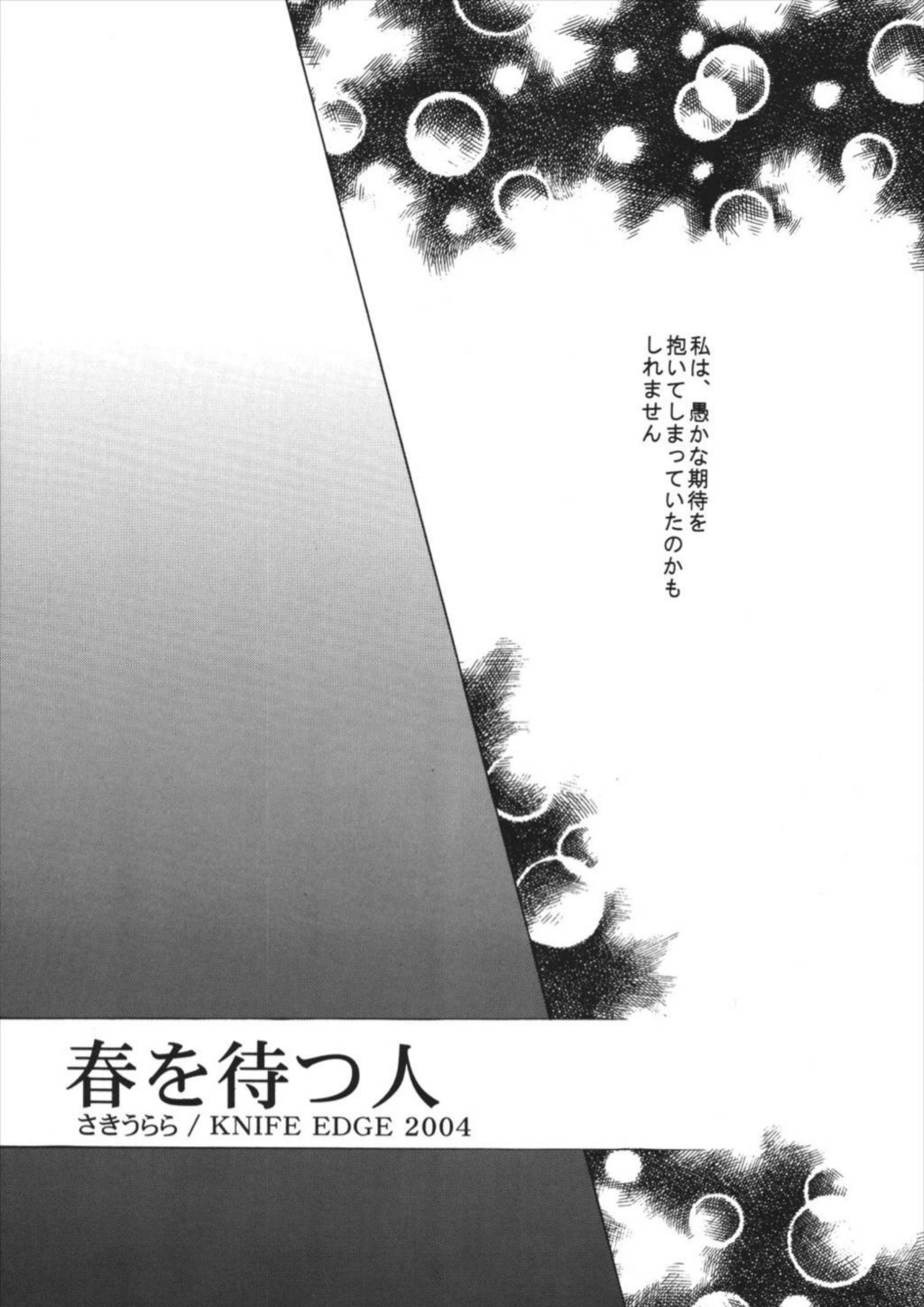
飛び続けて

目を逸らす事が
出来なかった





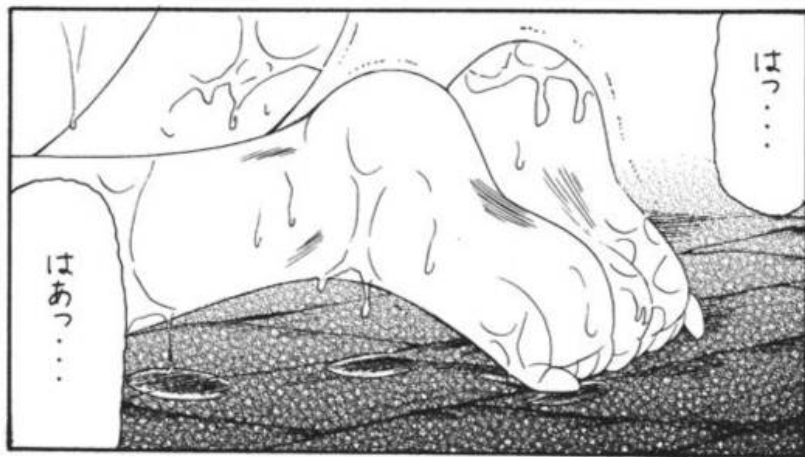
あの彼だと知った時



私は、愚かな期待を
抱いてしまっていたのかも
しれません

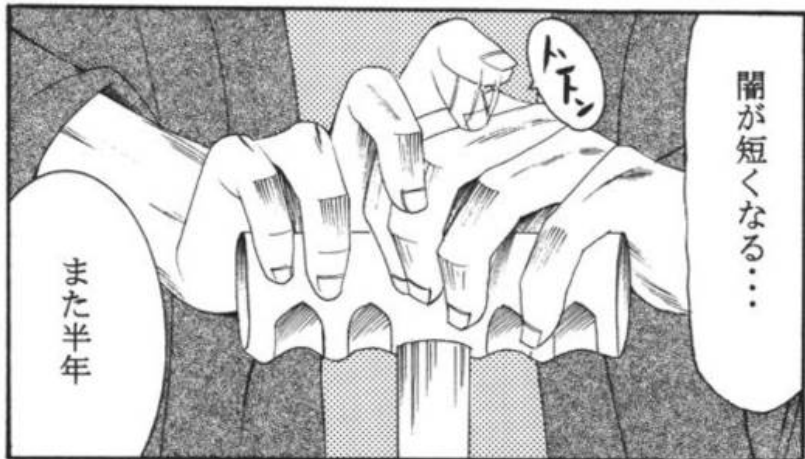
春を待つ人

さきうらら / KNIFE EDGE 2004



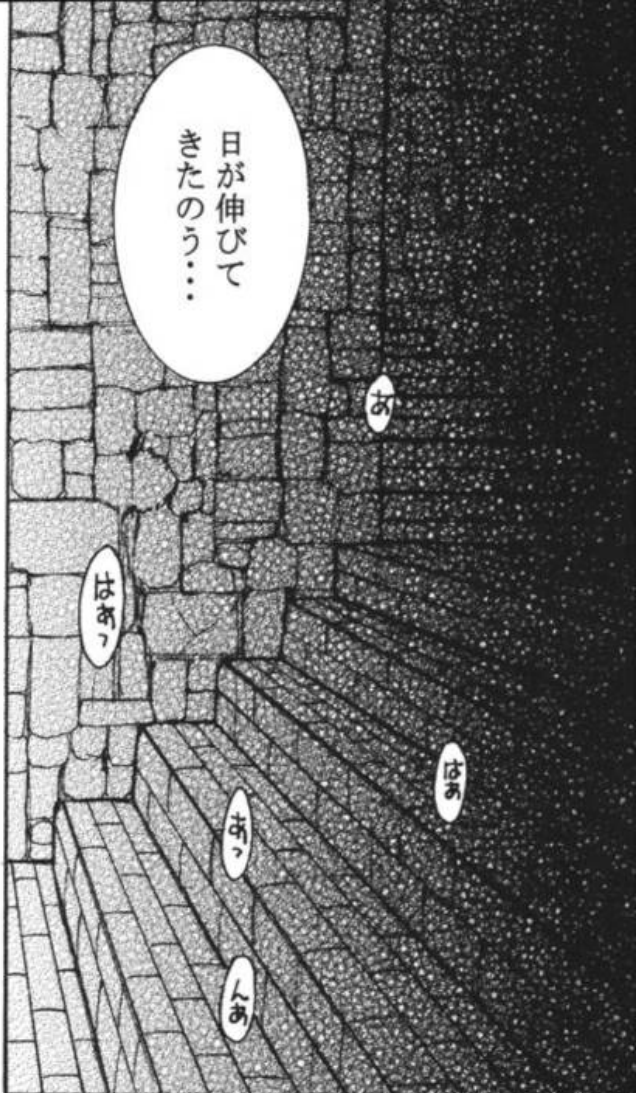
はっ...

はあっ...



間が短くなる...

また半年



日が伸びてきたのう...

はあッ

あ

あ

はあッ

んあ



...しかしそれは

またお主が一年の修練に耐えた事を意味しておる



はっ...あっ...

憂鬱な季節を我慢するのかのう

はっ…

はいっ…

新しい春は憂鬱じゃ
お主に更なる修練を
重ねねばならない

しかして
それも

ズルズルッ…

ズルッ…

間桐の後継者として
逆らえぬ運命

許しておくれ…





はっ...

おおおっ...



アッ...

ああっ...

がっ...はっ...



ぐあ



あっ

あっ...

はっ...



ひんやあっ...

うぞ...うぞ...



よし…今日は
ここまでじゃ
戻って良いぞ

暗い地下房で
繰り返される調教

陽の当たらない
隔離された私の世界



私は春が
嫌いでした





吹雪いてました



間桐に養子として
迎え入れられてから

雪のように
積もる苦行



ガキヤン



でも

おはよう桜



心はずっと



ハイ♪

先輩の家に
いる時だけ

出来たのから
運んでいって

後は俺
やるよ



…おはよう
御座います
先輩



聞こえてるぞ
藤ねえっ

何よ偉そうにねえ
半分は桜ちゃんが
作った物なのにねえ



お？
出来てる
出来てる

藤ねえまだ手
つけないよ？



私は日差しを

温もりを感じられた



春とは
きつと

こんな感じ
なのだろう



穢れた私でも
その幸せの一角に
触れる事が出来る

それが私にとっての
唯一生きる糧で



そう時間は
かかりませんでした



彼を愛しく思うのに

先輩その
手の痣は…

でも、それ以上は
望んでは
いけなかった

しんぞんじ



嫌だっってんなら
なんでこんな
濡れてんだよっ

やっ
びん



やだっ…
今日はダメツ…
さっき修練場にいた
ばかりだから…

どいつもこいつも
俺をバカにしやがって…
衛宮がマスターだっって？
なんでアイツが
マスターになれんだよっ



…お前明日から
衛宮のトコ行くな



！兄さん
それはっ…



お前は僕の
言う事聞いてれば
いいんだよっ

きやっ

でもっ
お爺様は…



監視を…
続けろと…

それに…兄さん
約束してくれ
ましたよね？
行ってもいい
って…



…ああ…
そうだな

約束は
守らなくちゃな



お前は俺のものだ
って言う約束
忘れちゃいないよな？



まずしやぶれ



……っ



美味かい？



そう…

ガボッ

ガボッ

ガボッ

そうだよ…



相変わらず…

おっ
おっ
おっ
おっ

こういうのは
上手だよなっ…



ふちゅ…
んふっ…



う…ふクツ…

出すぞツツ



くっ…そろそろ…

出る…

パチパチ

くっ

パチパチ



わきゃ

ホラ
まだ終わりじゃ
ないだろ？

こつちに
尻向けるよ



ホラねだって
みろよ

犬みたいに
犯され
たいだろう？



く
ち
あ

兄さんの…

挿入れてツ…
くだ…さいっ…

とちゅう

はっ：…本当に
お前はとうししようも
ない奴だな…

脱衣っ

淫乱がっ

くあああっ♡

ホラ：…イイ
んだらう？

どうなん
だよっ

っあああああ

つきやうっ

んあ♡
あ
あ

やんげ

ぞい

あ

あ

あ

あ



そう、私は
女として壊れていた

ぬ、ぬ、ぬ

吐き気が
する程
拒絶
したいのに

嫌なのに

体が反応
してしまう

私の意志を
上書きしていく
ふしだらな波

長い冬の間、
私は自分でも
どうする事の出来ない

出るッ

ああ♡

身体に
変えられていた

ドクドクドクドク

はっ

んっ

あ♡

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

でも彼は

どんな事になっても
桜自身が
桜を殺そうとしても
俺が、俺が守るよ

そんな私を
受け入れてくれた

せん、ぱい

嬉しかった

約束する
俺は、桜だけの
正義の味方になる





穢れた私を



あっ

ハハハハ
とんねん



許してくれた



さ、桜…

見てください先輩
目をそらさないで



私のいやらしい
身体を、見て
さわっ…て…

はあ？



壊れた私を
受け入れてくれた

その人
とは：
どう
なったの？

幸せに
なれたの？

...

初めて得た
幸せを手放したく
ないと願った挙句

私は彼を
追い詰めて
しまった

穢れていく
雪の様な心

彼が受け入れて
くれるのをいい事に

私は春を
貪った





彼が私を
求めてくる
という事実

今夜も桜を抱きたい
桜はいやか？

一度
充足感を
覚えた渴きは

二度とそれを
手放したくない余り

コポ
コポ

いやっ

兄さんいやっ

いやっ



私は本当の春を
放棄してしまったの



世界を敵と
みなす事で



そして彼は



偽りの春から
私を解き放つ為に



その命を
投げ出してしまった

おるるるん

あああああああああ♡

ジュン



なっ…

あせん…

ドゥー

桜っ…
これは一体…



大丈夫…



いっ

あ

いやっ

あああ♡

なにッ…

コレっ…あ

はあああっ

あず
あ

あ

いけば
縮むから…

あ

とろ

あ



全部…
入ったわ
ライダー

桜…あまり
動かないで…

あ♡
奥にっ

こすれてっ

ああっ
ダメっ…

刺激がっ…

強すぎてっ…

子宮に
当たるっ

やっあっ

もっど…
突き上げてえ

桜…もっもっ…
もっもっもっもっ

もっもっ…もっもっ…

クニクニ

ズンズン

だめっ

んんん

アンリマユとの
繋がりには完全に
断ち切れず

アム...

アム...

アム...

ダメっ...

はー!

魔術回路が
残っている限り

はー!

私の身体は
疼くのを
やめなかつた

火照りが
納まらないッ...

先輩じゃ
ないと

この疼きは
納まらないんです

先輩っ…

助けて
先輩っ…

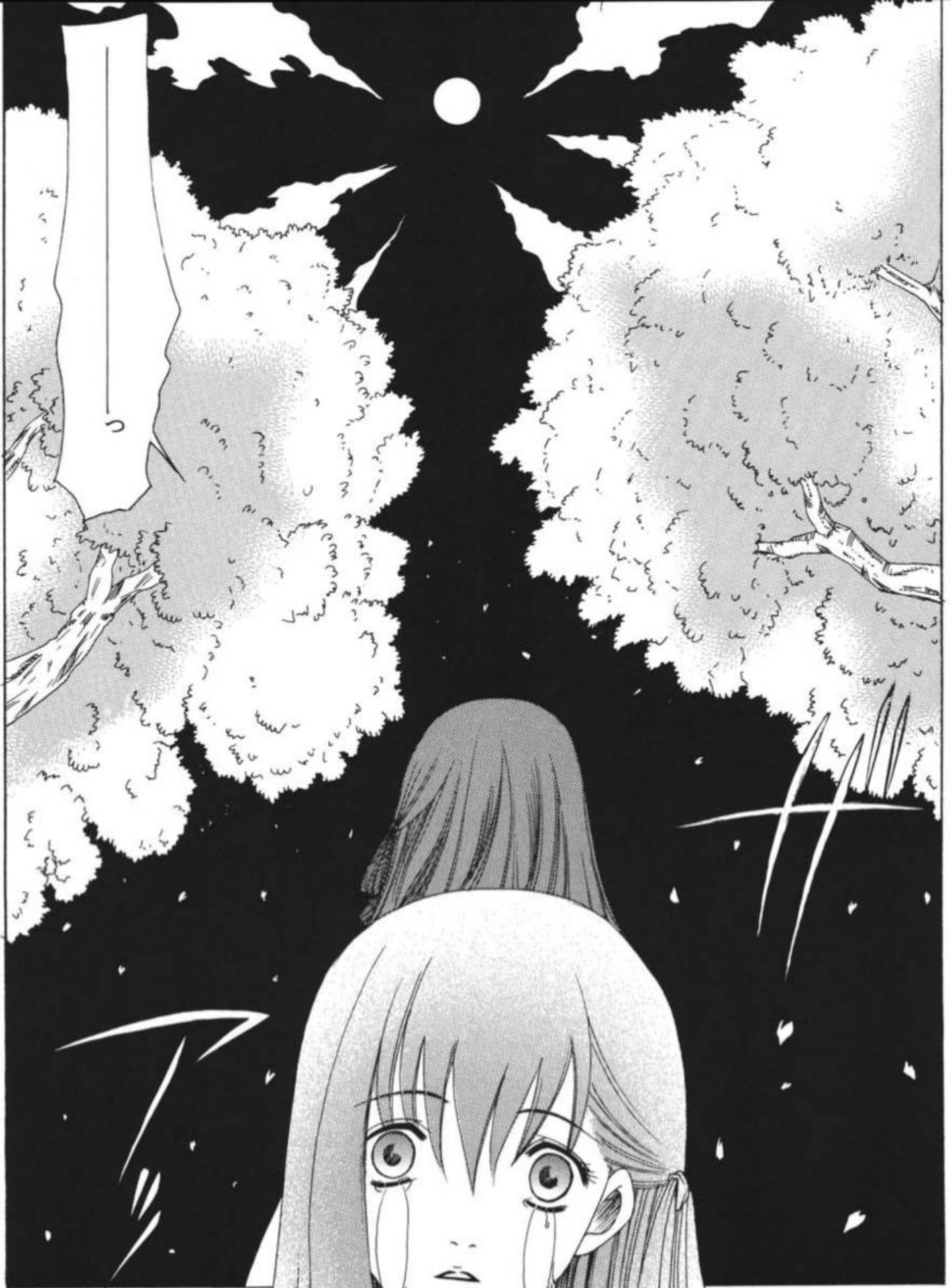
私一人じゃ
だめですよっ…

つたからには

責任を
果たせ、
桜

!!

ほっ



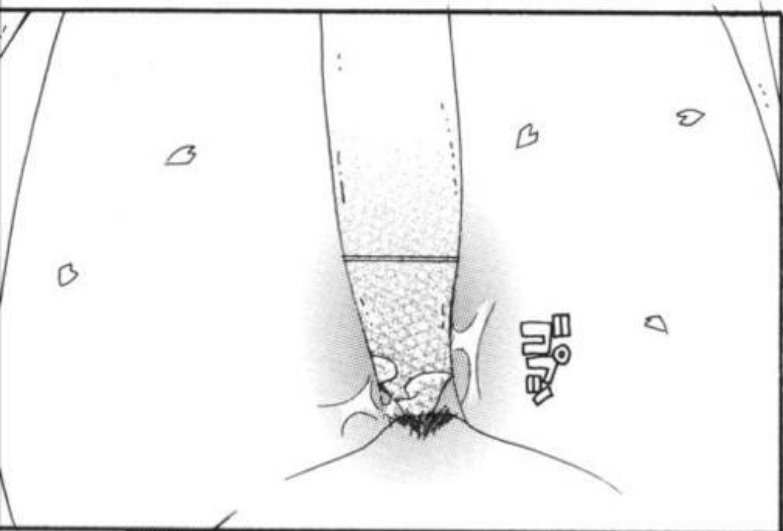
4

B

P

△

△



あはは

あ...

あ...ああ...

あ...

あはははははははははは

一番大好きな人を
亡くしてしまった



あんな人は



もう二度と

現れない事も



知っていた

春を嫌い

春に悶え

春を願った私



多くの人の
血を吸った桜は
咲く事無く

もう
笑うしかなかったの



なのに、私は生きている
貴方が居なくても、
私が生きている事実
貴方を亡くしても
こんなにも正気な事実

それが、彼の
不在が何を
意味するか

生き残った私が
何を背負うべきか

わかったの
夜だったの

あら…

寝て
しまったのね…

あれから幾年月
多くの春が
私を通り過ぎ

彼の顔も声も
もう思い出せない

それでもあの日の
約束を糧に、今日まで
頑張ってきたけれど

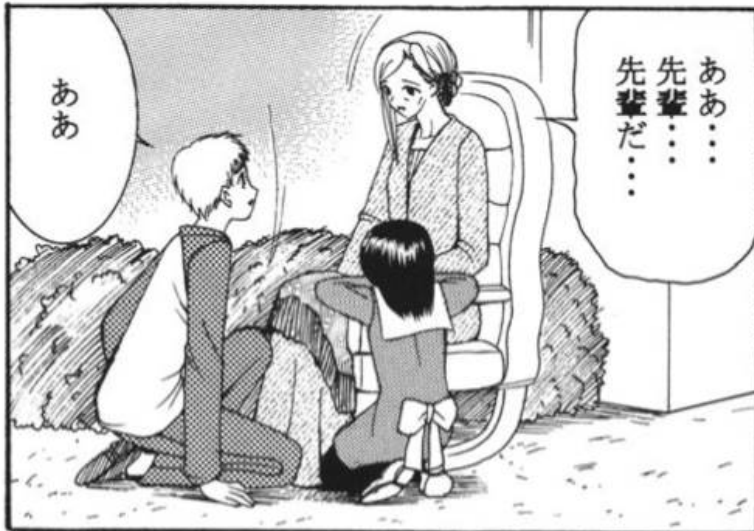
ココのところ
調子が悪い

今日は特に…

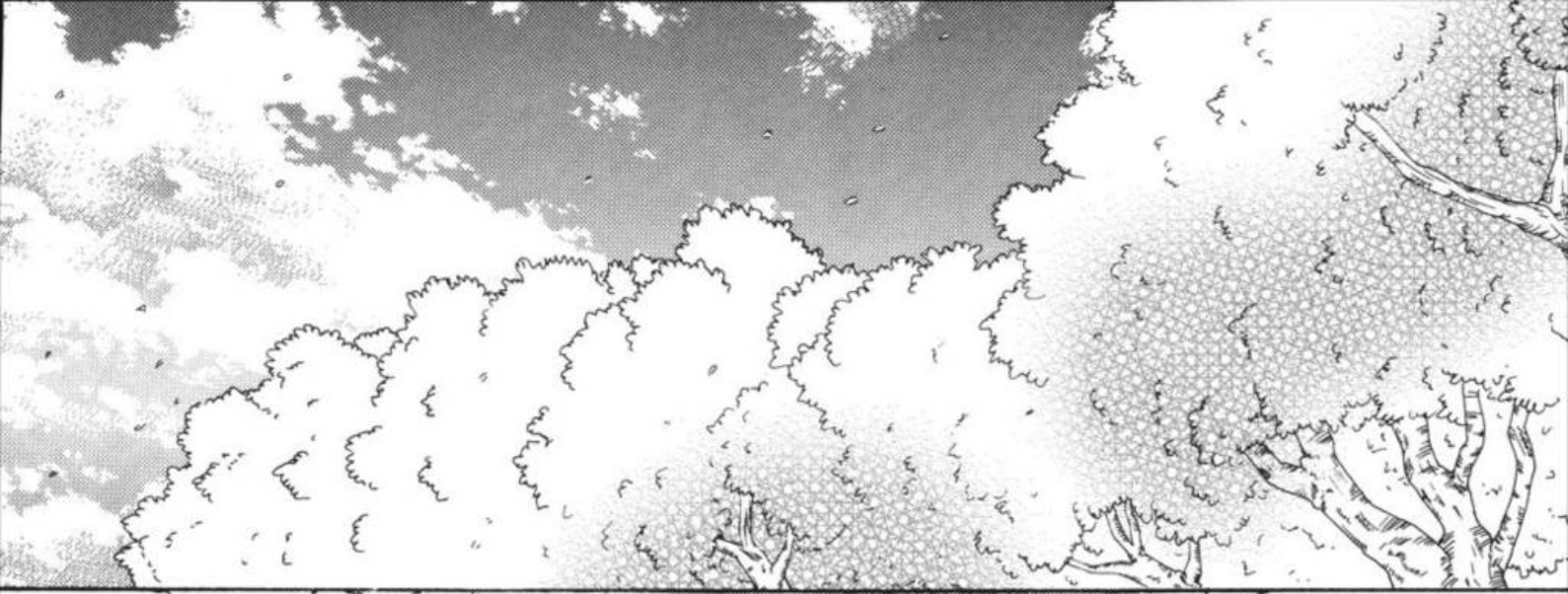
話し込んだ
せいかしら…

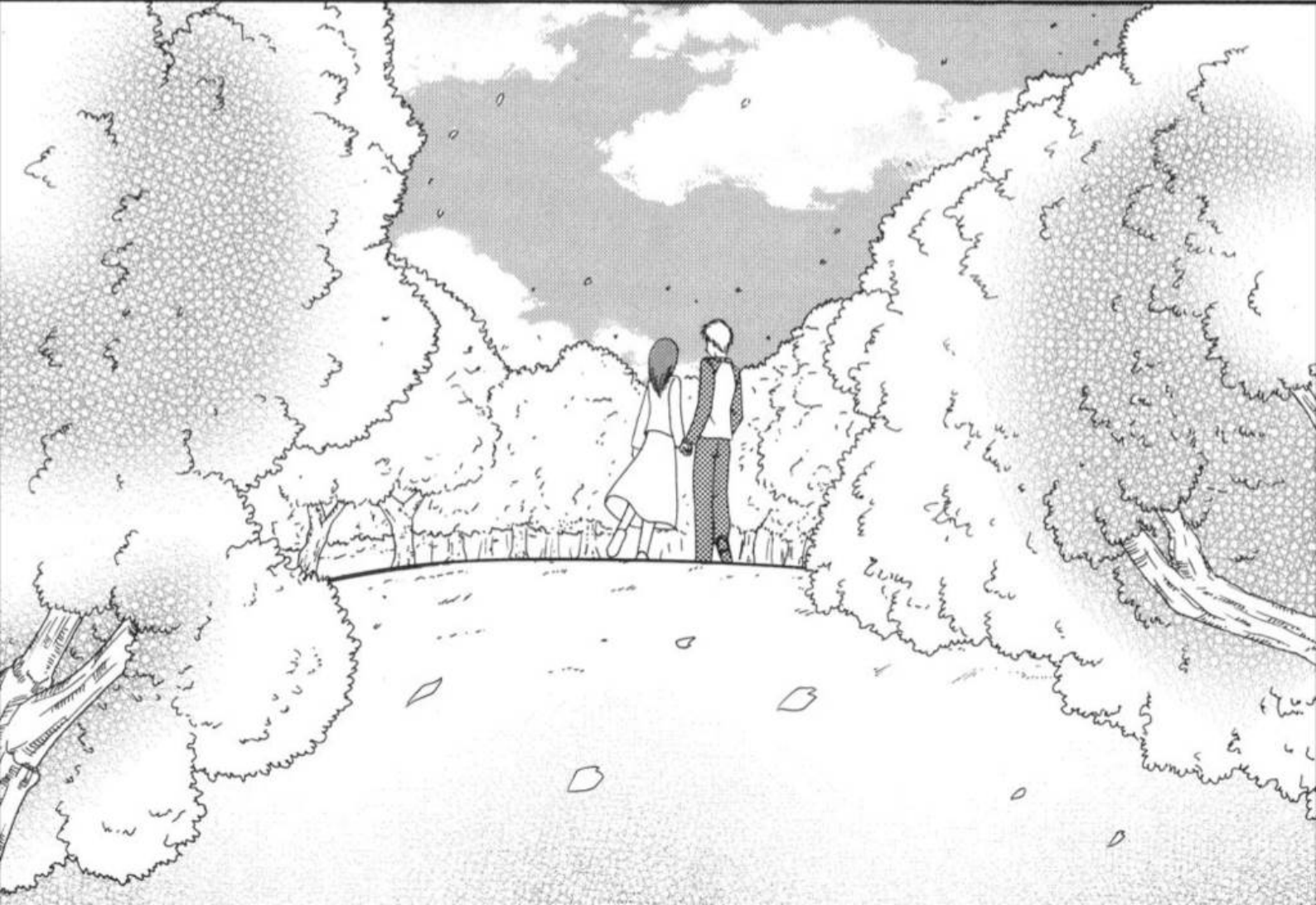
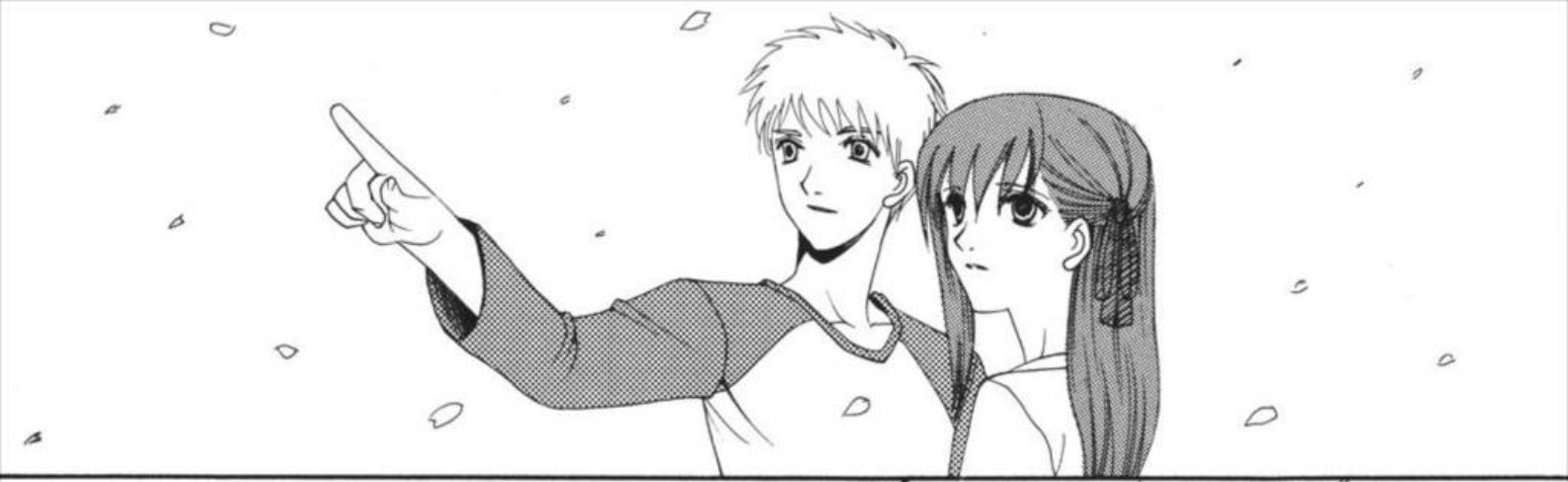
お待ちせ

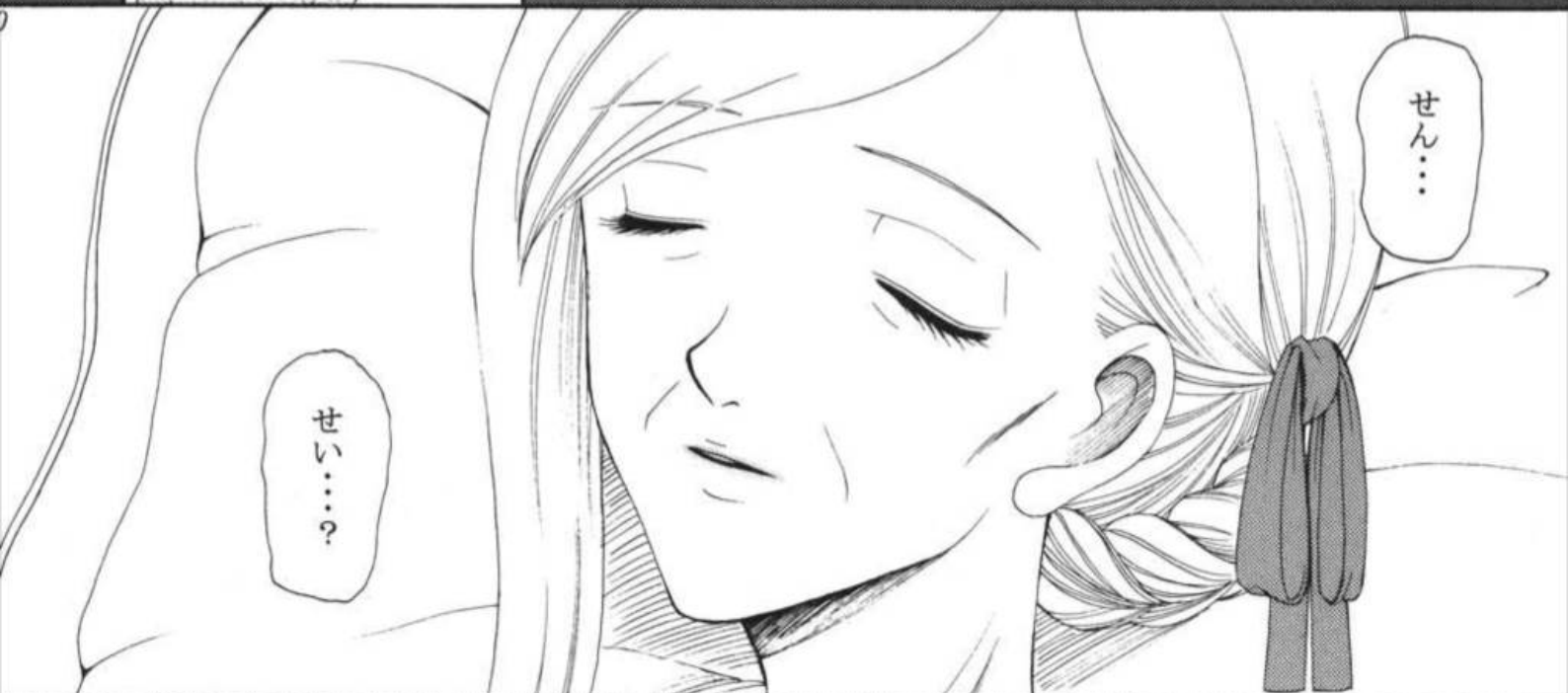












忘れてしまえる事は忘れてしまえ
忘れきれないものばかり
桜の元に横たわれ
抱きしめて 眠らせて
彼岸へ返せ

桜 桜 20 年前に
桜 桜 見たものを話せ
桜 桜 50 年間前に
桜 桜 見たものを話せ

別れを告げて消えていくものはない
思いがけないことばかり
残されることが生きること
抱きしめて 眠らせて
彼岸へ返せ

桜 桜 100 年前に
桜 桜 見たものを話せ
桜 桜 200 年間前に
桜 桜 見たものを話せ
桜 桜 果てしなく前に
桜 桜 見たものを話せ

黄の桜 / 中島みゆき

カニツキマガウタ



シロウ
今は眠って

きっと今
してた事は
忘れちゃう
だろうけど

その方が
お兄ちゃんの
ためだよ

馬鹿…
忘れるか…よ…

ホラ
いい子にして

うっう

うっう

ニホン語で歌って
あげるから…

私もこの歌でよく
眠ってたんだよ…

今日はどれ位
起きてたの？

朝…料理をするんだって
張り切っていたんですけど…

54

イリヤに
笑われちゃう…

ダメだ…
こんなんじゃ…

ポポポ

先輩？

アレ…俺なんで
泣いてんだろ…

俺が守らないと
いけないんだから…
こんな事で…
こんな…こんな…



先輩っっ!!



先輩



先輩!



参ったな〜…
ここまで
落ち込むとわね〜…

ふ



それからまた
寝っぱなしです

…混乱したままの
記憶の並列化の為に
睡眠は大事だけど…

第三魔法により
復活した士郎の魂を
蒼崎により提供された
素体に宿してもう大分たつけど

問題なのは士郎の心が
壊れてしまった事だ

欠落した記憶の回復
魂と素体の連結
精神と肉体とで一大難工事が
行われているのだ
心がオーバーヒートして
しまうのも無理はない



くまあ妹の命と
引き換えに
自分が生き
永らえたなんて
士郎としては痛恨の
極みだろうけどさ…

…そういう
認識なんですね

？どういう
意味、桜

…姉さん
イリヤさんの事
どう思っていましたか？





逢って間もないのに
あんな自然にいられるなんて
おかしいです

…それは2人が共通の
父親を持っていたからでしょう？

兄妹なんだから
そういう運命の下に
生まれた二人なら
時間なんて
関係ないじゃない

桜……！

クワッ
クワッ

…御免なさい…

厭味とかじゃ
ないんです

…血の繋がっている
私達でさえ
こじれてしまう
ものなのに？

ただ…
兄妹とか
そういうの
じゃなくて…

先輩は亡くして
初めて気が付いて
しまったんだと思います

士郎はどっちの
サーヴァントなのっ

イ…

イリヤ？

えーとー

わーいシロウ大好き♡♡

まさか
ビンゴ
だった…？



ちよツツ…何
やってんだイリヤ…!

喋らないで

私に任せて
おけばいいの

むきっ

任せるってツツツ

聖骸布を外せるように
なったからって
シロウがこれから
しなきゃならない事は
無茶な事にならないの

せめて幾らかでも
魔力を回復
しておかないと

散々桜と
やってたんだから
怖くは
ないでしょう

何言ってるんだっ
こんな…

痛っ

ホラ、シロウは
リラックスしていればいいの
手間かけさせないで

~~~~~  
ッ

おおきい  
入るかな...コレ

イリヤそれ以上...

れる...  
れま

ホラ、硬く  
なってきたよ?

ろろろ

ふむっ

はっはっ

ホラ、シロウは  
リラックスして

.....

ふむふむ

カ  
カ  
カ





そういう事  
じゃなくて...

何? 桜に  
操でも  
たててるの?



そういう事じゃ  
ないなら  
いいじゃない

ええっ?!

びしょ

びしょ



ふふふ

ふふふ

ふふふ

ふふふ

ふふふ



...せめて早く  
終わらせてくれ

...せめてッ

ジュリッ

イ...イリヤ!?

ジュリッ

…何よ自分はもう一回  
出しちゃったからって

はま

私はまだ  
いいキモチに  
なっていないよ？

キモチ

あっ…♡  
気持ちいい…

は

あ

シロウの…  
ゾクゾクするっ…

んっ

くあっっ  
イリヤっ

ええっ!?!

あーっ  
あーっ  
あーっ

あーっ  
あーっ  
あーっ

まだ  
入ってないよ

シロウも  
速いよ……

そう・なんだ

シロウも  
気持ちいいんだ……



仕方ないだろっ  
スゴイ気持ち  
いいんだからっ

あーあ……  
私のアソコ

ズキズキ  
♡

シロウのザーメンで  
どろどろだよ……

シロウ

フフ……すごい  
いやらしいね……

もうガマン  
できない……

シロウ……？

ゴクッ

か

か









シロウ  
きもちいい？

キモチ  
いい？



熱いよお...

シロウの熱い...



シロウ好き...

シロウ...



シロウ？



士郎  
好き...







あ♡

きゅん♡

きゅん♡

きゅん♡

きゅん♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...



あ...

あ...

あ...

あ...



はあ

はあ

はあ

士郎……



はっ



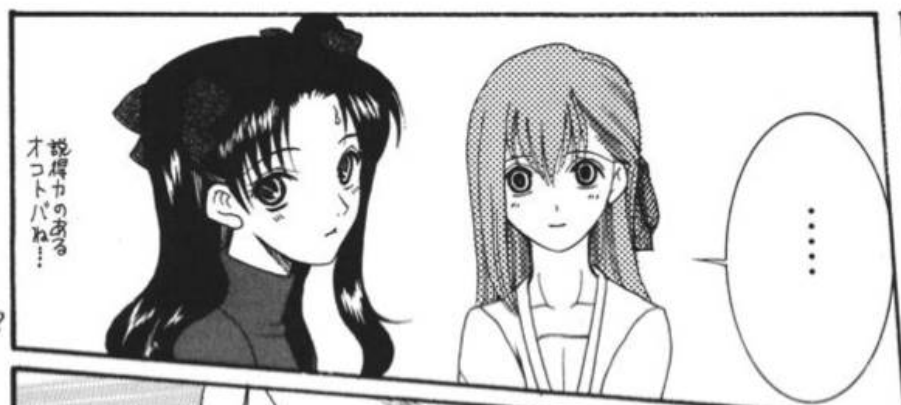
……イリヤさんの  
事を知れば知る程

私は卑屈に  
ならざるを  
得ませんでした



あの人は私たちより  
全然大人だった  
……女だった

くでもまだ  
あんなちっちゃい  
ガキが……



悦懐中のある  
オコトバね……

……



……!



凜、恋い慕うのを阻むものが  
単に大きい、小さい程度の事なら  
それは阻む障壁に値しません



先輩？



先輩……!!



その成就の為にしか  
望まれない存在



聖杯戦争の為に  
だけ生かされ



士郎……  
私、ずっと探してたの



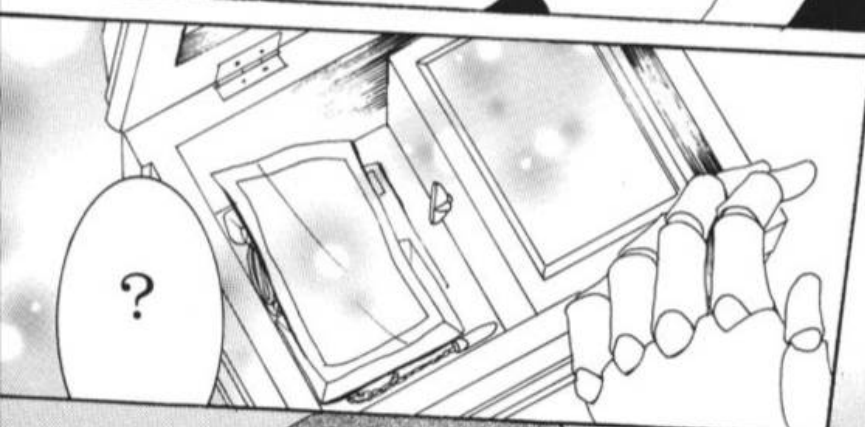
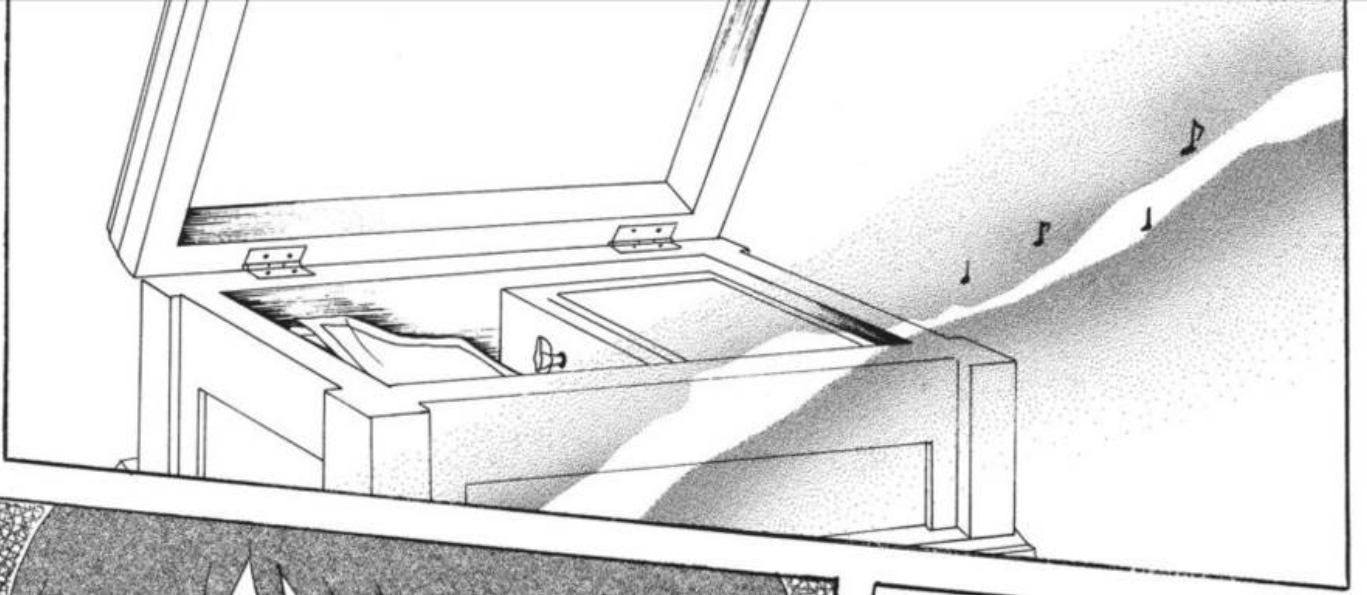
望む夢は復讐の  
対称でしかなかった

それを今日  
みつけたよ

そんな私にも  
私自身の為に

願う望みが  
あるのかなって…







先輩！



どうして  
忘れてたっ…

どうして  
気付かなかった…



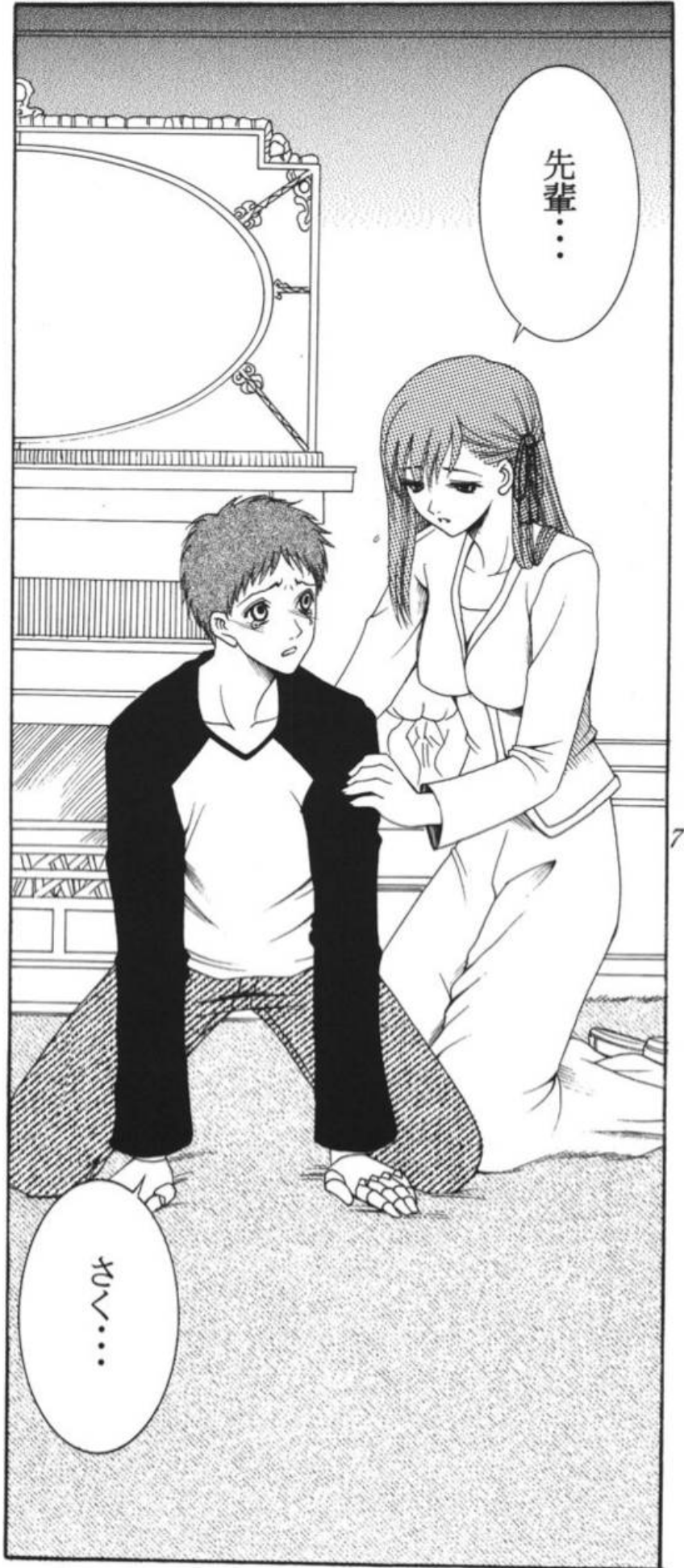
先輩  
大丈夫ですか！

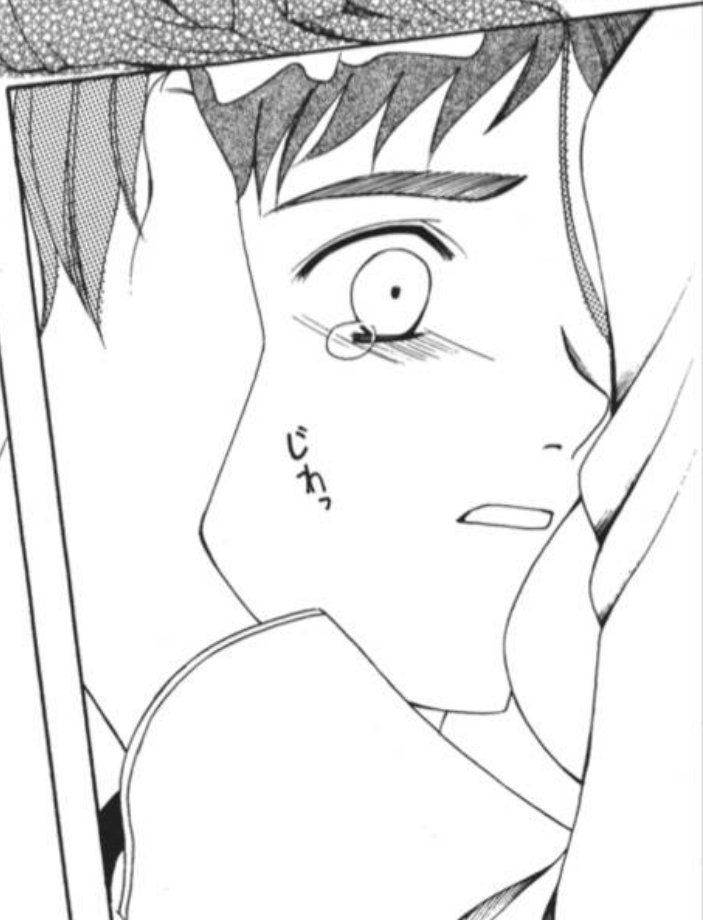


士郎  
がっ

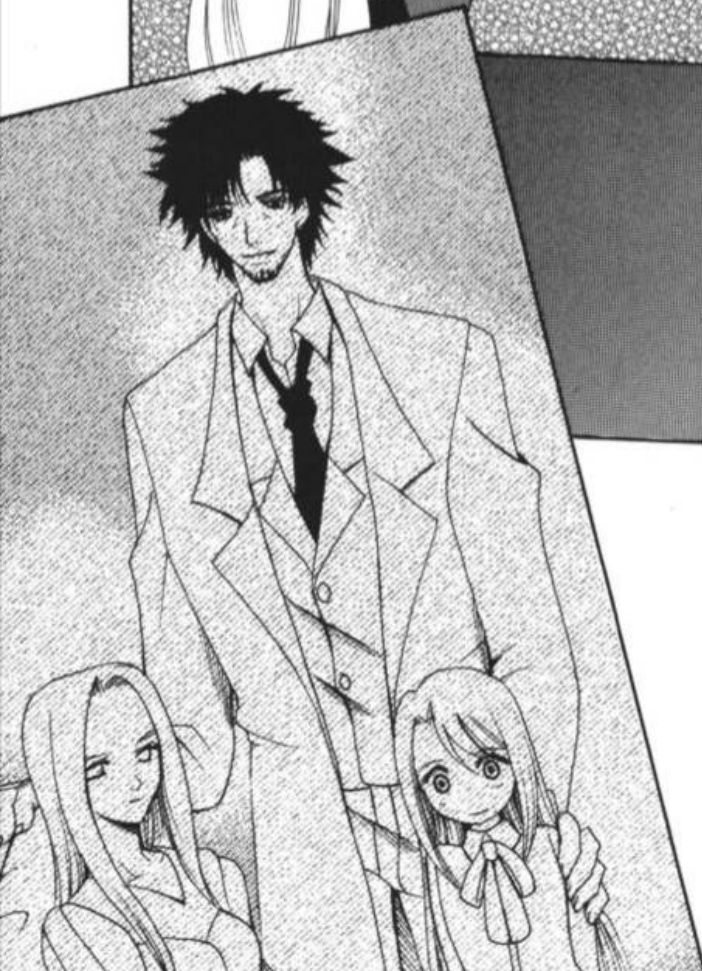
俺は…

俺はイリヤが…  
好きだったのに…





うあああああああ





イギリス  
かあ…

遠坂さん  
らしいよね



しかしまゝ桜  
よくここまで士郎  
立ち直らせてわよね



私ならダメ

好きな女への想い  
引きずってる  
男の世話なんて  
ムリムリ



フフフ

え？

私、イリヤさんから  
頼まれたんです



私の事で胸を  
痛め続ける士郎を  
愛せる？

...

その程度の  
想いなら  
士郎は私が  
連れて行くよ

ダメ！先輩を  
連れて  
行かないで！

...なら誓って  
士郎を幸せにする？

何でも  
するからっ...  
先輩だけはッ...

...いいわ  
士郎は生きて  
返すわ

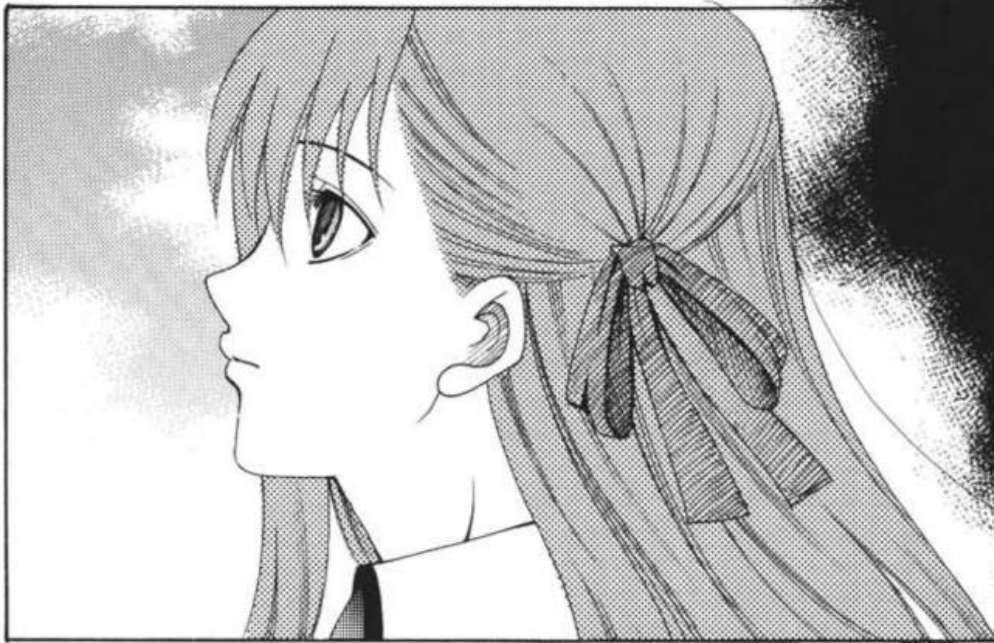
行きなさい  
もうじきここも  
崩れるわ

それと...

サクラ、私



あなたの事  
嫌いじゃ  
なかったわ



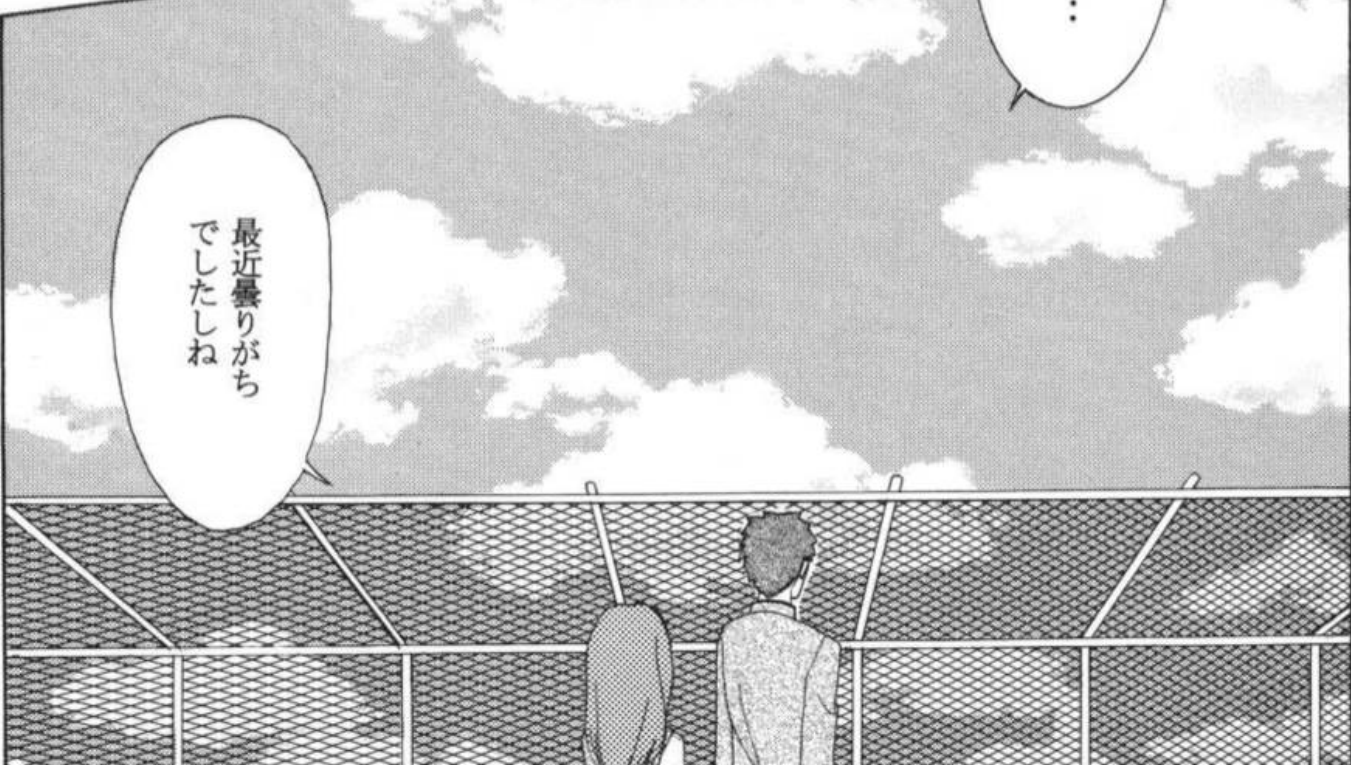
ローレライ…

魔性の歌声で  
船乗り達を破滅  
させる少女か…



いい天気だ…

最近曇りがち  
でしたしね





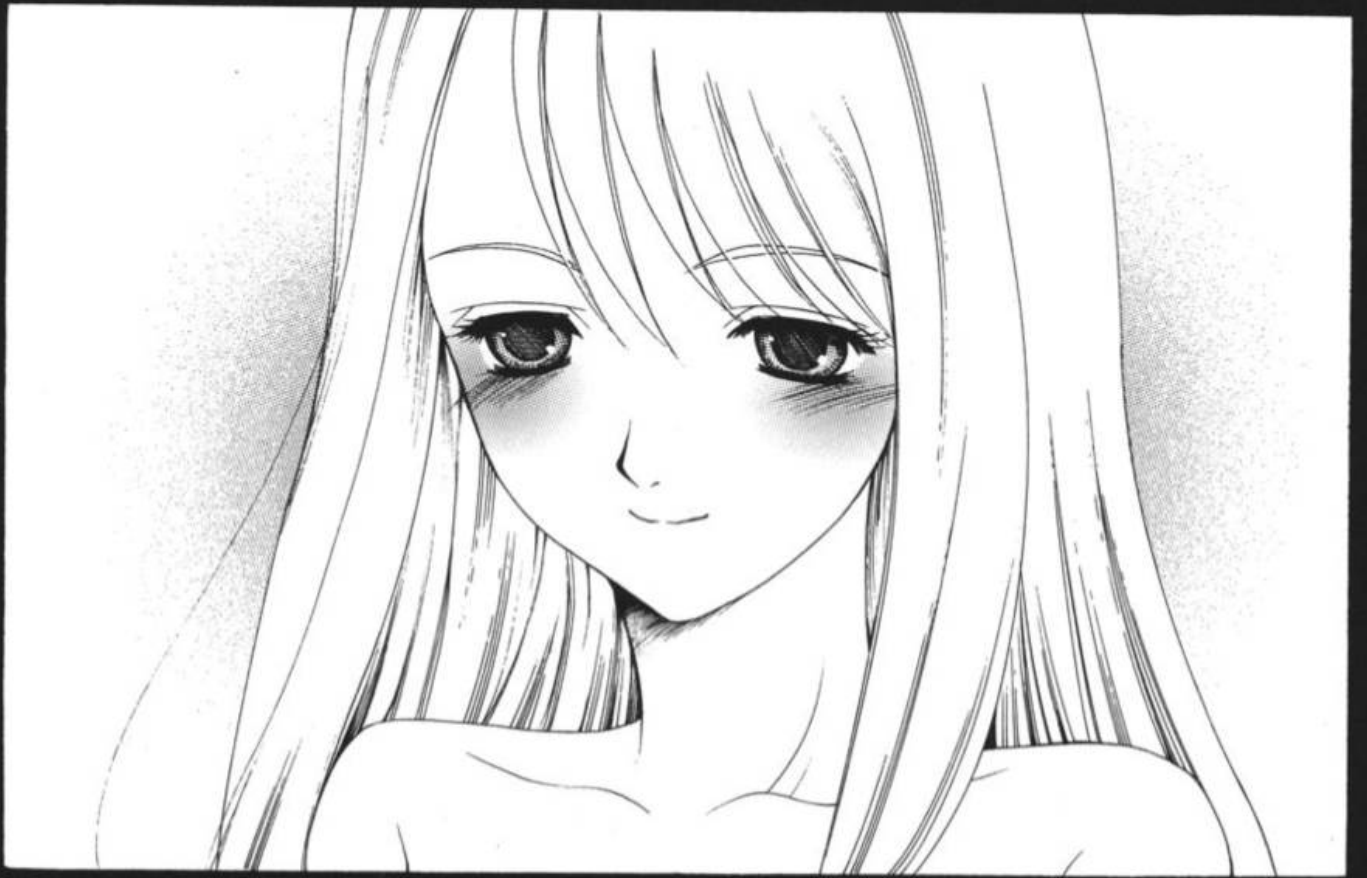


Die Luft ist kühl und es dunkelt  
Und ruhig fließt der Rhein  
Der Gipfel des Berges funkelt  
Im Abendsonnenschein  
Die schönste Jungfrä sisset  
Dort oben Wunderber  
Ihr goldues Feschmeide blitzet  
Sie kämmt ihr golenes Haar  
Den Schiffer im Kleinen Schiffe  
Ergreift es mit wildem Weh  
Er schät nicht die Felsenriffe  
Er schät nur hinaf in Hör  
Ich gläbe die Wellen verschlingen  
Am Ende Schiffer und Kahn  
Und das hat mit ihrem Singen  
Die Lorelei getan

なじかは知らねど 心わびて  
昔の伝説つたえは そぞろ身にしむ  
寂しく暮れゆく ラインの流れ  
入り日に山々 あかく栄ゆる  
うるわしをとめの いわおに立ちて  
黄金の櫛とり 髪のみだれを  
梳きつつくちずさぶ 歌の声  
神怪き魔力に 心も迷う  
こぎゆく舟びと 歌に憧れ  
岩根も見ぬらず 仰げばやがて  
波間に沈むる ひとも舟も  
神怪き魔歌 語るローレライ

士郎寝た？





士郎  
貴方は  
私が守るわ

雪に舞う白い花  
踊るように溶けて行って  
僕の心に積もったのは  
悔やみきれない後悔だった

魔が歌は耳から離れず  
あの日の愚かさを責めるよ  
せめて目をそらさず  
手を取ることが出来たら

あの日の幸せが  
ひと時君を癒せたなら  
幾歳逝ける屍になろうと  
僕は代わらず君を想う

あの日咲いた花は  
枯れる事無く  
この胸を焦がす  
駆け抜けるスピードは  
君が生きてと願う想い  
僕と共に生きる希望

雪に舞う白い花  
踊るように溶けて行って  
僕の心を奪ったのは  
忘れられない切なさだった

聖女陵辱妄想



吊り上げられた美童  
ドレスに着替えられた聖女は  
魔女により辱めを受ける

高く吊り上げられた腰は  
局部を高々に露にさせる  
恥辱に怒りを露にする



セイバーを挑発するように  
キャスターは彼女の肌を撫で回す

美しい身体…  
聞いて傷をつけるなんて愚かな事

●女は愛らしいものが好きだった。  
可憐なものが好きだった。  
フリルやレースとか、そりやもう  
大好きだ。しかし自分では着ない。  
今まで付き合った男達が  
悉く引いていったからだ。  
だから葛木の前でも着たりはしない。  
ギリギリエプロンは大目に見て  
もらえないかと、こっそり何気なく  
着てはいるが。だから？だから。  
セイバーをひと目見た時から  
可愛らしい服を着させたい、  
可憐な面差しを愛でたい、  
そう思っていた。ならばこの状況、  
それはキャスターにとって  
至福のひと時であった。

ーつとーりー♡





肌を露にされキャスターの指が  
セイバーの柔肌を撫で回す

絹の様な手触り、  
ゆっくりと乳房を刺激し、  
繊細な指使いで理性を溶かしていく

やめろっ…  
こんな事をして無駄だっ…

鋭敏化された感覚は  
キャスターの指使いに  
■白いように反応する

めっ…はっ…めめっ…

例え様もない甘い吐息



ふんふん



●辛抱溜まらずセイバーの柔肌に  
指を這わすキャスター。  
術によりけだるく、その一方  
感覚は鋭敏化しているセイバーは  
キャスターの動きに敏感に反応していく。  
それはキャスターの被虐心に油を注ぎ、  
魔女の性衝動を呼び起こさせる。

まだ育ちきってない幼く、  
熱していない重い乳房を  
執拗に揉みしだくキャスター

っあめっ

エレクトロする乳首に  
容赦なく歯を立てる

快感が脳髓にまで走り抜ける！

股間は既に  
栓が抜けた様に  
愛液を垂れ  
流している

ヴァギナから溢れ出る愛液  
身体は快楽を欲している

さあ素直におねだりなさい  
もつともつと  
気持良くなりたいでしょう？

辱めなど私には無意味だっ…

●勝られるセイバー。  
快楽の波がじりじりと  
其の身を触んでいく。  
男とする性行為とは違う、  
キャスターの執拗な愛撫。  
一度舐め上げる毎、  
つま先から徐々に自分の  
精神が裏返されていく、  
それを淡々と  
認識させられる様な  
酷く残酷で甘美な性交渉。

ハハハハハ

強がるセイバーの口に  
押し込められる  
キヤスターの肉棒！



んぐぶう  
思いつきり  
口内射精！

さあ飲み干しなさい  
私のザーメンよっつ

遠慮なく放出される  
キヤスターの催淫液

それまで以上に感覚が  
鈍化するセイバー

身体中の痠みに  
穴という穴から  
汁が吹き出る

●キヤスターの攻めは終わらない。自らのクリトリスを肥大化させ  
セイバーの口内にねじり込む。素敵マジックで放出された液体は催淫液。  
それまで以上に身体の疼きを感じるセイバー。  
身体に触れられるだけで、溜まらない程の快感が脳天を突き抜ける。

身体がつ…身体が  
燃えるようっ…

ホッホッホ…



ぶちまけられた精液  
汁が混ざり合い、  
ツユだくのセイバー



セイバーの  
小さな膣口を  
広げるキヤスター

熱く濡れきった蜜壺に、  
入る前から鼓動が高まる  
キヤスターの怒根

素晴らしい…こんな  
オマンコ初めてよ…

●それでもなお服従しないと宣言するセイバー。  
キヤスターは顔色変えず、熱く熟しきったヴァギナに  
その肉棒を突き立て、挿入を繰り返す。  
ひと擦り毎に脳内がピンク色の爪弾きにかき乱される。  
快楽に吞まれたい、呑み込まれてはダメだ、  
英霊の尊厳を揺るがす程の悦楽にセイバーは必死に抗う。



激しく蹂躪する魔女の肉棒  
ひと擦り毎にセイバーの  
理性がこそき落とされていく…

あがつ熱いっ  
熱いイいつっ

子宮もノックされる毎に  
膣内がフラッシュユバック

はっはっはっ



…かつ…お断り…だっ…ああっ

さあ、この快楽に  
飲まれなさい

おっ  
おっ  
おっ

あんなに  
おもしろい

あんなに  
おもしろい

あんなに  
おもしろい

あんなに  
おもしろい

あんなに  
おもしろい

既に結合  
ザリトリスは糸を  
真っ赤に腫れ上がる



はっセイバーマンコいいっ  
イクっいいイクううッッ

っあああ熱いっ  
熱いっいいっ

溶けちゃう、  
溶けちゃうううッ

イケそでイケない  
セイバーの生き地獄が続く



湿潤した意識は  
快楽を望むか否かさえ  
判別はつかない

イかせて……

●キャスターの目的はそれだった。  
寸での所でセイバーの急所を外す。  
そう、簡単にイかせて快楽の淵に墮としてもつまらないのだ。  
可憐な少女が、英霊の尊厳と悦楽を天秤にかけ  
羞恥に悶え苦しむ様程美しいものはない。  
キャスターはそんなセイバーなどお構いなしに、  
その愉悅に浸り、何度も絶頂を迎えていた。  
セイバーは幾度も腫出しされ、感覚は既に沸点を迎えていた。  
しかし、なぜかイケない。早くイかせて……  
早くシロウっ……でないとい私はッ……  
士郎達が教会に着くまでそんな事が起きてたら、たまんないニヤァ。

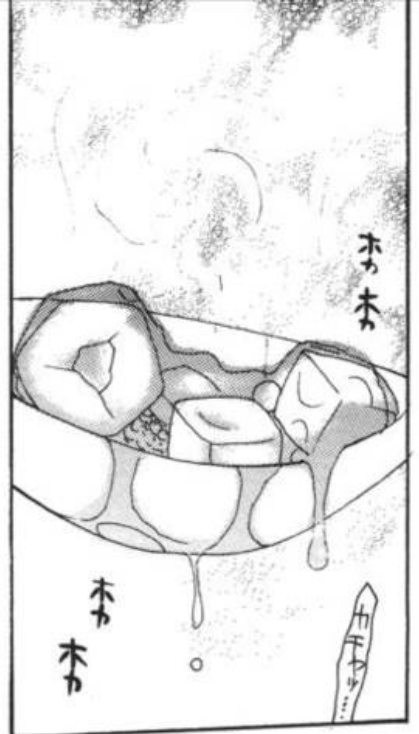
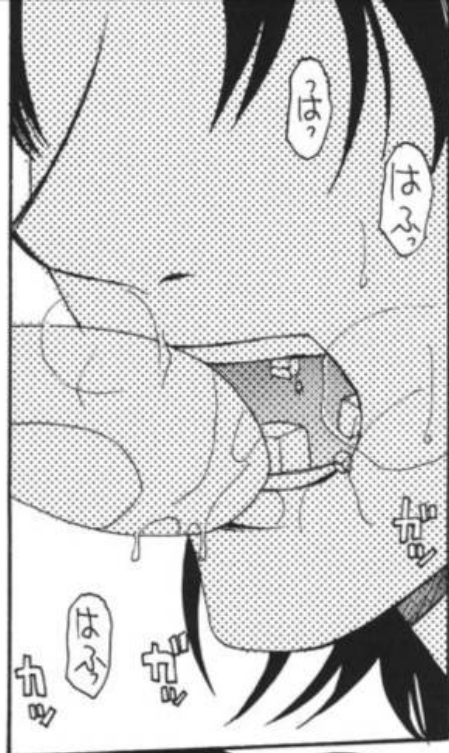
そんなセイバーを弄び  
決定打は決して与えない  
ストイックなキャスターの  
攻めは尚も続く



聖女陵辱妄想と同じ本に  
収録されたイラスト。  
大好きな絵なので特別に再録。  
きっと使いまわすよこの構図。

追憶の刺激

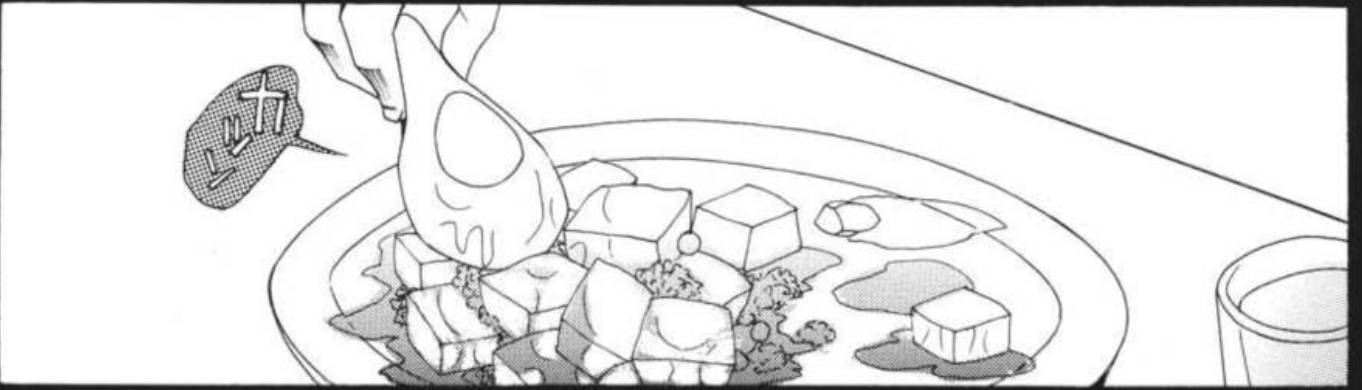
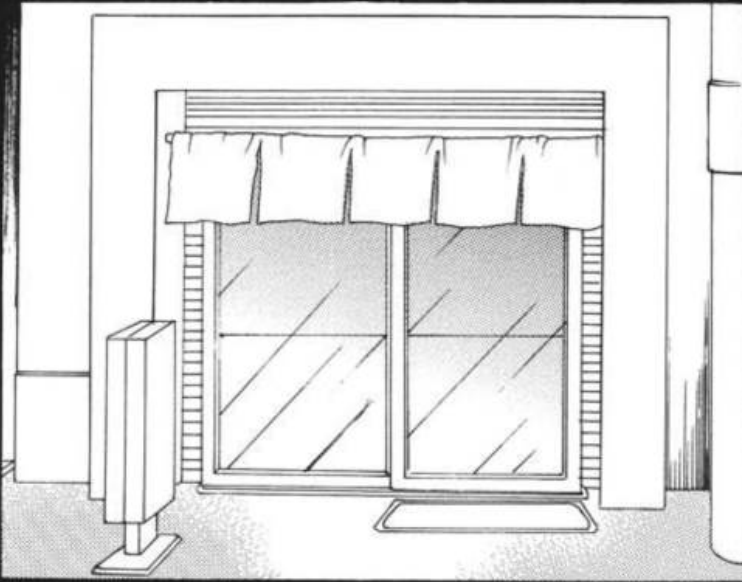






追憶の刺激





何アンタに  
尋ねたい事が  
あってね



何の用だ

私が貴方の  
問いに答える  
とでも？

まあ素直に答えるとは  
思っていないさ…

…遠坂

師匠をやったのは  
弟子のアンタって  
踏んでるんだが

先を  
越されたな

お待ちどう  
アルよ

何が  
言いたい

焦りなさんな…

あーん



アタタよく  
こんな物食えるなっ

かっ……辛っ



はあ

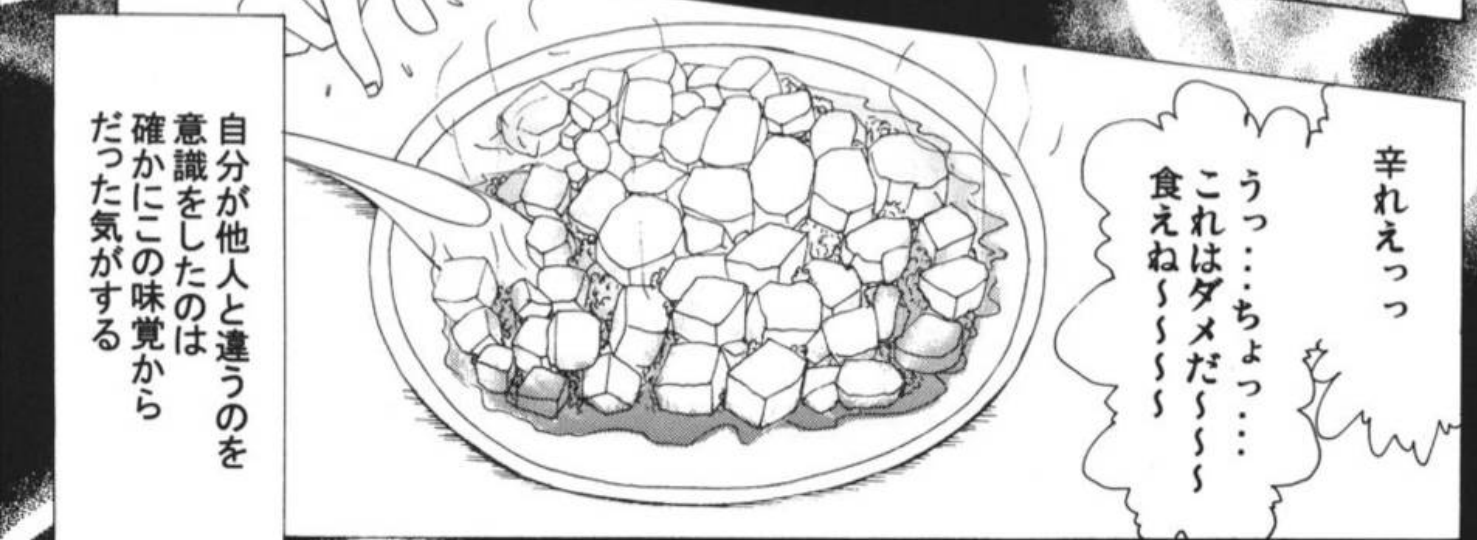
はあ



こんな辛い  
麻婆豆腐っ……

初めて  
口にしたらっ……

……



辛れえっ

うっ……ちよっ……  
これはダメだっ……  
食えねっ……

自分が他人と違うのを  
意識したのは  
確かにこの味覚から  
だった気がする

当時はさして気にしなかったが  
時が経つにつれ味覚だけではなく  
自分の趣味趣向の下地 もっと根本的な何かに  
他人のそれと大きな隔たりがあると知った

そしてそれは  
隔たりなどという  
レベルの話ではなかった

自分が世界で唯一  
反転しているのではないかと思う程の  
絶対的な差異

——そんな自分を  
認めてくれようとした  
女も居た

あまり  
辛すぎでは  
身体に毒よ

直そうとしても 理解しようとしても  
決して一致する事のない価値観

世界に於いて自分は  
無意味で無価値な存在なのか





もう少し控えても  
いいんじゃないかしら

結局その女も  
無意味な日々消えた

この辛さを  
味わえるのは

ここ位  
なのでね



有り得んっつっ  
何なんだこれっ

辛い辛い辛いっ

ぐくぐく  
ぐくぐく



舌が溶けるっ

はー  
はー

拷問の類  
じゃないかっ



麻婆豆腐  
お代わりアルよ



ハイお待ちー！

まわい



ふんふん

食べない

食うのか？



血は引かずとも

っああああ



受け入れ  
られないとは

正に同じく  
衛宮か



衛宮  
私は戦いから  
降りた身だが

限界…

お前と凍は  
未だマスターだ

臓硯は陰湿だぞ



せいせい  
気をつける事だ

見てただけ  
胸焼けが…

うぶ…





私にはある

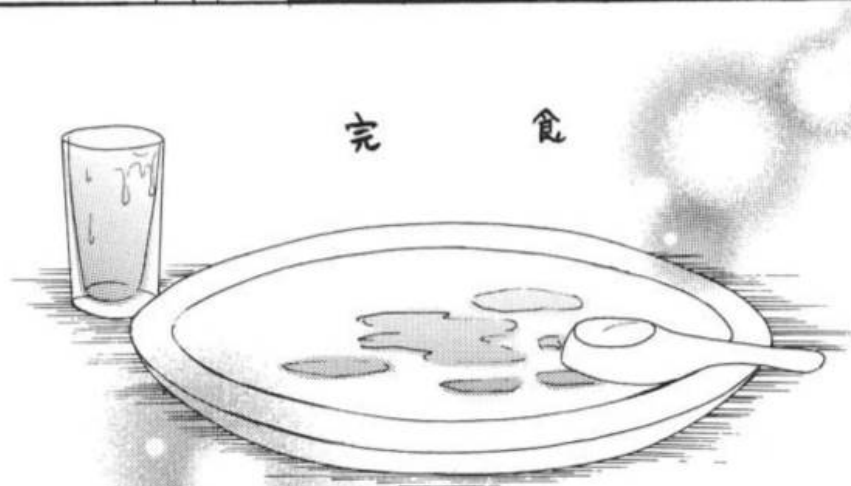


お前達に  
価値はなくとも



お前も  
義父と  
同じように

私の価値ある物を  
否定しに来るか？



さあさあ寄っしておいで覗いてみな 今宵皆様にお贈りするは baby.  
ありとあらゆる愛ヌラリ お楽しみあれ

歌にダンス 妖しい酒 テーブルの下張り裂けそうな  
ハシタナイモノ光らせて 御気の召すまま

貴方の夢に あなたのその儂い  
乾杯しましょう ほら天使が泣いている

ああ今夜も血に塗れた 魔王の羽ブルーベルベット baby.  
尖るシッポ群がる淑女 眠れない夜

貴方の闇に あなたのその暗闇に  
乾杯しましょう 最期の血が廻れるまで

貴方の夢に あなたのその儂い  
乾杯しましょう ほら天使が泣いている  
涙 廻れ果てるまで  
御機嫌よう さようなら

貴方の闇に あなたのその暗闇に  
乾杯しましょう 最期の血を掲げ  
貴方の夢に あなたの闇に  
乾杯！

DIABOLO-Lucifer- /BUCK-TICK

ロスタイム



# ロスタイム

あれはまだ  
サッカーやってるの？

あーは、ええ、  
コートキックです  
残り時間ありません

ああ、あとは  
ロスタイムだ…

風呂上りっ…かっ  
風邪引くぞっっ

いいじゃない少し位  
…ところで何？  
ロスタイムって

?知らないのか  
試合中競技以外に  
費やされた時間は  
規定時間終了後  
追加されるんだ

わ！イリヤ  
服っ服！

残りロス  
タイムの  
それがロスタイム？

そう

あーやはり  
げえっ!?

なんかもう  
勝負はついてるのに  
無駄に足掻いてる  
みたいでみっともない

ふーん  
それにしたって  
大した時間じゃ  
ないんでしょ？

んき

馬鹿  
試合は最後まで  
分かんないだろ！

カ  
ン

バ  
カ  
ア  
？

イ……イリ……

好きなチームが負けてるからって  
レディに向かって馬鹿はないでしょ？

キ  
イ  
イ  
イ  
イ  
イ  
ヤ……わっ

な  
ん  
な  
な  
な  
な  
な  
何  
を

グ  
ラ  
ッ

だからって  
身動きとれなく  
する事ないだろっ  
早くどいてくれよっ

ダーメ  
ちゃんと謝りなさい

馬鹿って言ったのは  
悪かったけど…

けど…何？

偉くなったものね  
シロウも

何 今度はお説教？

確かに冷静に観りゃ  
試合は負けだろうけどさ

試合終了まで精一杯やるのは  
無駄なんかじゃないだろ…

違うっ…俺は  
当たり前のっ…

…大事なものは結果じゃなく…  
その過程だろって事を…



そうね… 聖杯戦争を  
終らせて 私を助けて  
シロウは満足な結果を出せたもの

イリヤ…？

楽しい思いでも…

そういう立場なら  
幾らでもそれまでの過程を  
美化出来るわよね

未来もない

結果を出せなかった  
私は

最果ての東国で

意味もなく  
朽ちていくのよ…

イリヤ!

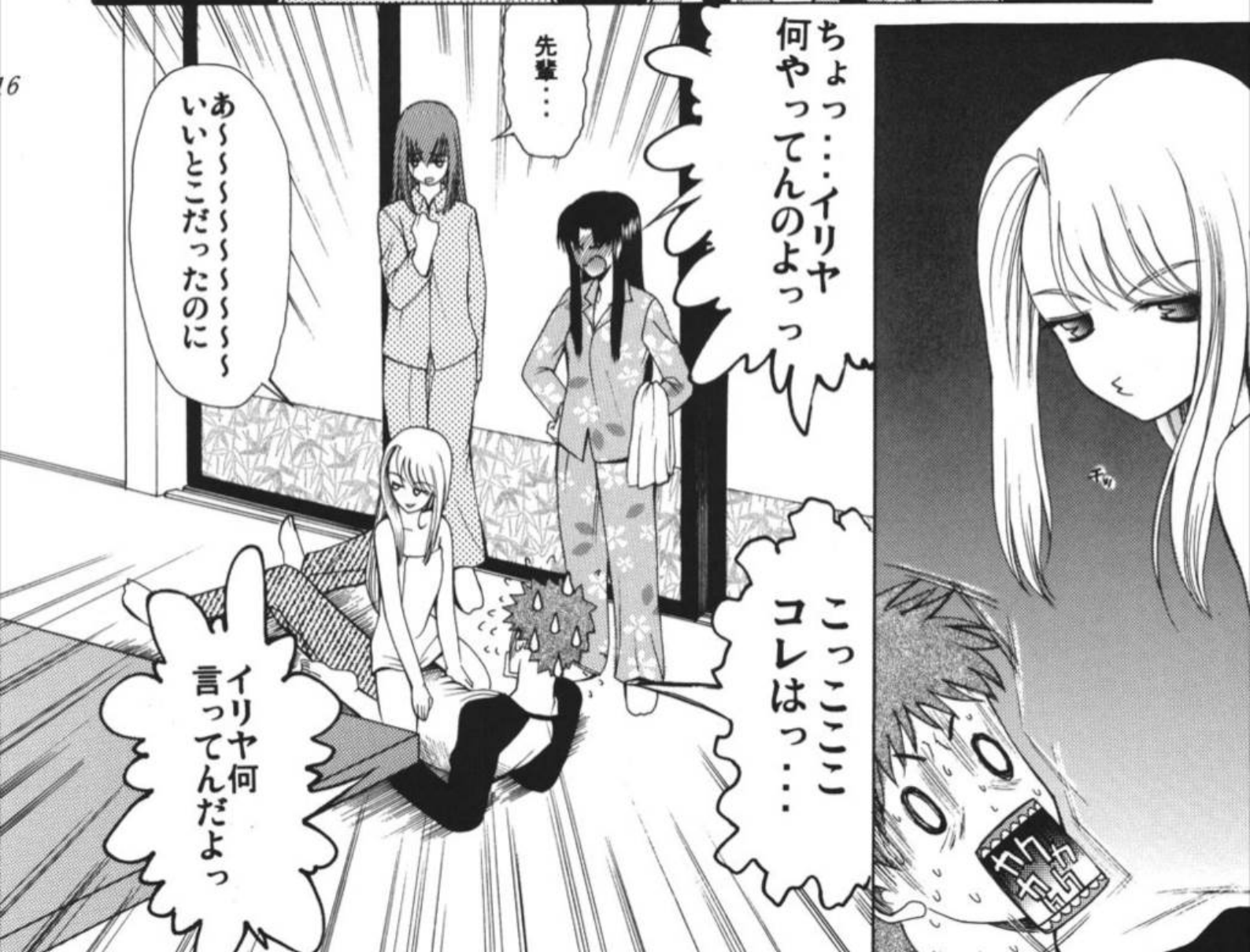
結果なんかには  
意味なんてない!

結果に固執した所で  
つきつめていけば  
皆死んじまうんだ!  
ならそれまで  
どう生きるかだろう?

結果結果って…

俺は…俺は  
イリヤにそんな  
させたくて助け  
わけじゃないっ  
た

シロウ…





シロウも何か言ってるやっ

なっ...出鱈目をっ  
イリヤっっ

あの森であつたか  
分らないか  
とも思つて?



!?

なっ...

凍なら分かるでしょ?  
シロウとした事あるだろーし



あら  
カマかけたら  
凶星?

って何赤面  
してんのよっっ



生き  
永らえた私

目的も  
果たせず



残された  
このひときは

とても楽しくて

は〜〜いいお湯  
だつた〜〜

せめてあと  
もう少しと

あ…

続いてと  
願う私の

W.L. No. 96

私のロスタイム

ゴール！  
ロスタイムから同点PKへ！  
正に奇跡の…奇跡の  
逆転勝利です！

家族の食卓に 湯気たててよりそう  
みんなで決めた 週末のメニュー  
いつもの僕の椅子 見慣れた油絵には  
みんながつどうよ 何もかわらずに

悲しいこと 苦しいこと  
くもりガラスの向こう  
幸せなんてほんとうは  
こんな夜の優しい家だね

今でも憶えてる テーブルの隅の傷  
泣き顔 叱る声 優しい思い出

明日の朝 目覚めることが  
楽しみならいいね  
幸せなんてほんとうは  
ありきたりさ つづくよ  
つづくよ

家族の食卓／齊藤由貴

# 獅子の涙



凧…一人で行かせて  
良かったのでしょうか…

いやだから  
英国にセイバーが  
行っちゃマズイだろう

ですが…私は今凧の  
使い魔ですから…

余計マズイだろ  
英国の英霊を  
使い魔として連れてったら  
良く思わない奴等に  
付け入る隙を与えちまうだろ？

遠坂が留守の間  
心もとないのは分かるけど  
少しの間我慢してくれよ

そんな…私は  
何もシロウと過すのが  
不満というわけでは…

寧ろ…少し振りなので  
少し期待してしま…

凧の作る食事も  
大変美味しいが  
シロウの作る物は更に  
また格別であるから…

ほう♡

はいはい

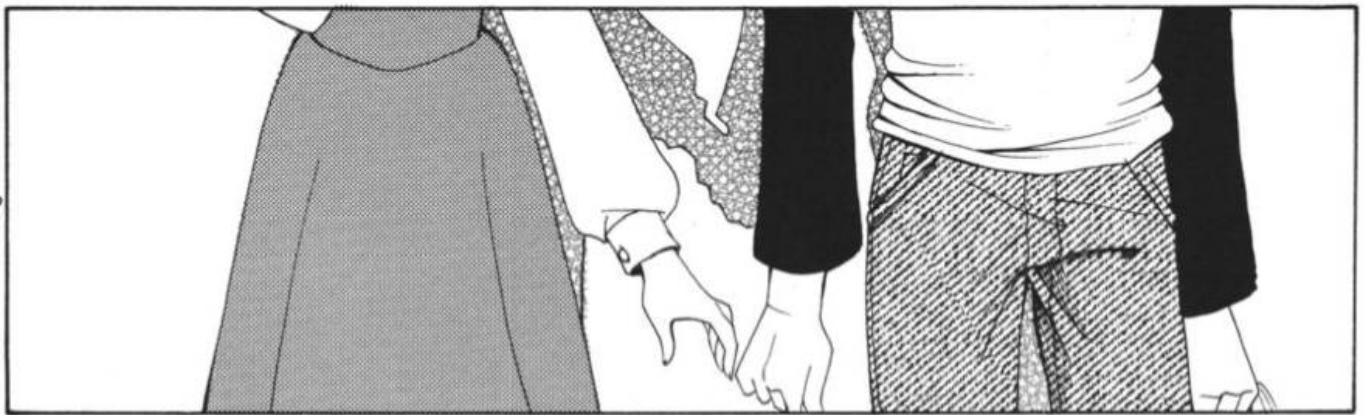
かっ

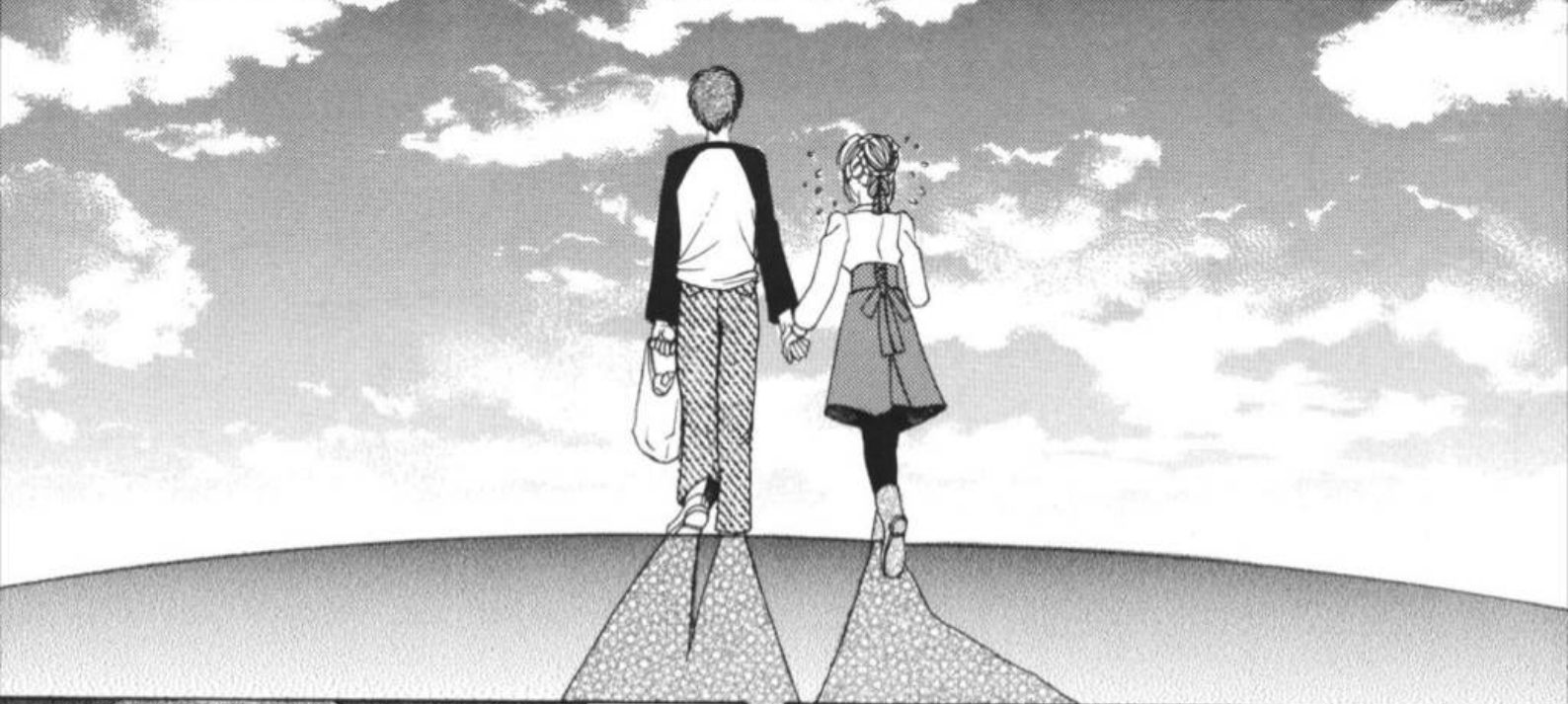
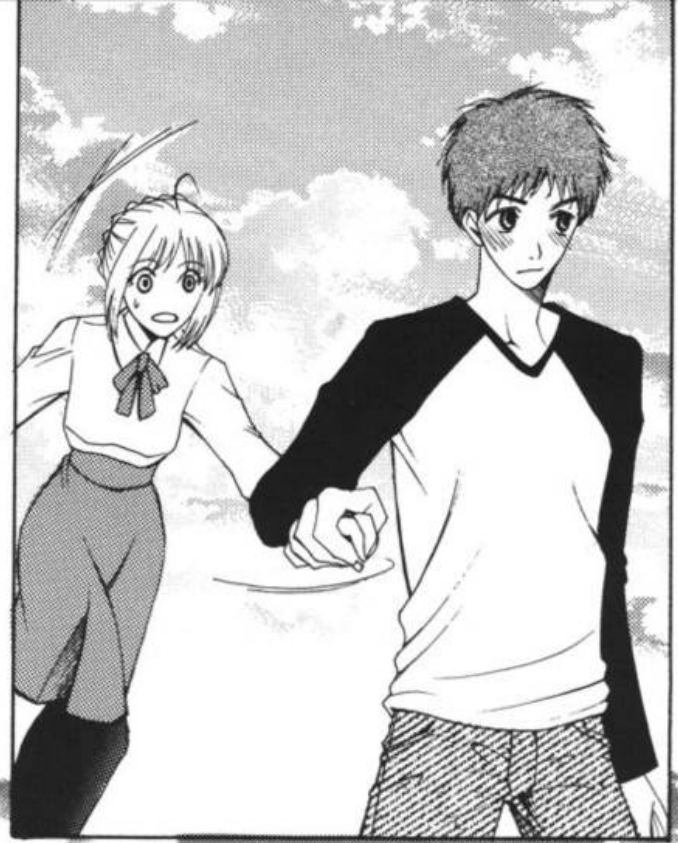
セイ…バー…？





122





藤ねえ今日来れないって  
雷画が体調悪いらしい

どうしたのですか  
シロウ?

え? ああ・そうか分かった:  
あ、うん大丈夫、明日の朝  
飯とどけにいくよ、うん

取り敢えず  
明日朝、あっち  
行ってこようと思う



今から様子を  
見に行つては？

んー時間も遅いし  
気を使わせちゃ  
マズイくないか？

……そういえば  
今日桜は……



慎二が今日  
退院するって言ってたから  
今日はまず来ないと思うよ

そうですか……

それではつまり……  
今夜は……





ええ  
そういう事

それは…つまり  
シロウトと…



セイバー、私と離れてる間  
魔力の供給が不足した場合  
…分かってるわね？



私とセイバーの繋がりが  
切れるわけじゃないけど  
流石に今回は物理的・時間的に  
前例のない程の隔たりになる

ですが…  
凛はそれで  
いいのですか？



…いいの  
私としては寧ろ  
そーじゃなきゃ困るわ

?凛?



貴方の気持ちを知っている以上  
私だけいい思い  
してるのは嫌なのよ

…凛!



……貴方もシロウも

ハッ  
ハッ

!

私のもの  
なんだから……

その私が許してるの  
気に病む事なんて  
ないんだから……

凍……

え？ええええええええ？

シロウ  
入りますよ

ガラ  
ガラ

きゅ



いいいいいいいい  
嫌なわけないけど

背中でも流そうかと  
思ったのですが…  
嫌ですか？

せっせっせせせ  
どどどどど  
ツツツツツ

コツコツコツコツ

いままいまま

がらがら



何か手際が  
あったら言って下さい

そ、ふ、不手際  
なんてそんな…

カ  
コ  
ン

トク

凍の場合割と細かに  
支持が出ますよ？  
脇はくすぐったいので  
自分でするとか…

？遠坂そんな事まで  
セイバーに  
やらせてんのか？

…やらせてる  
…というか一緒に  
湯につかる場合往々にして  
流れてそうなるのですが…

うオあああああ？？

例えば…  
スキンシップ  
と称し…

こういう風に  
身体を密着して…  
互いを洗いあう  
事もあります…

むいゅ♡

せつ…セイバー  
それは…

おんやう

おんやう

気持ちよく  
ありませんか？







はなう...

はなう...



ええ？

ダメですシロウ  
出すならせめて



ほっぴに...

くあつ...  
バセイツ...



はあ...

てわ...

~~~~~: 沢山...  
出ましたね...



んんん



う...

おむっ...んん

…今度は…ちゃんと

はあ

抱いて、頂けますか？



~~~~~

すみません  
私の我儘に  
付き合わせて…

そんな  
全然気に  
してないし…

…あ…



…凍に  
申し訳ないですか？

あ、いや…  
その…

…凍が言っていました。  
二人の思いを知っていて、  
何もしないのは耐えられないと

セイバー…

私も知っています  
シロウが凍を好きなもの  
だからコレは  
私の最後の我儘です…



最後だなんて！

くたしかに俺……  
遠坂が好きだけ……  
セイバーも好きなんだ……

でも遠坂はセイバーも  
好きなんだと思う

だから……アイツ  
誰も傷つかない関係  
作ろうとしてるんじや  
ないかな……

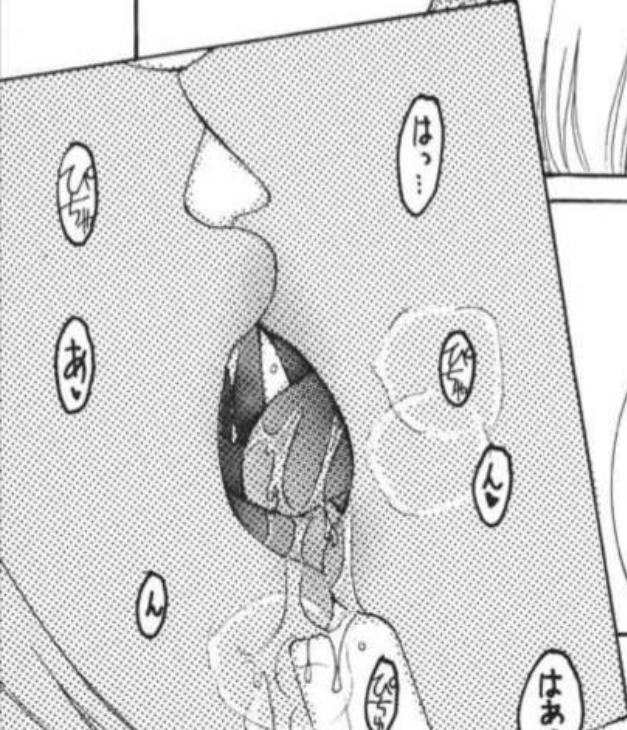
凜は……三……  
何とか言っ  
てました……

え？

すみません  
聴き慣れない  
言葉なので  
念失して  
しまいました

はっ

3……





何ぼさっと  
してるのよ  
シロウ



取りあえずこっち慣らしといて



あなたも手伝うのよ  
二人分の魔力を注ぐの





んっ♡

あっあっ

んっ♡

おっおっ♡

シロウっちちち...

あっ

おっ



はっあっシロウ♡  
シロウっちちち♡

あはっあ♡  
土郎もっしっ...

アイ♡

おっおっ...

あっ

おっ

混 乱

シロウ?...あ

あいつ3Pが  
したいのかー?!



セイバー...





変じゃない  
綺麗…綺麗だ  
いやらしくて…  
たまらない…

凄い…  
セイバーのこころ  
熱れた桃みたく  
充血してる…

はっ…シロウ…

そんなっ…



あ…ゴメン  
嫌なら…  
やめようか?

変な事言わないで  
下さいっ…



あ…いっ…  
です…

そのまま…  
して…下さる…

かあま

了解

あっ♡













あ...  
いっばい...

あっ♡

はっ♡

あつあつあつあつ...

気持ち...ア♡

**ズズズズ**

**ズズズズ**

ダメ...  
腰が...

腰が  
止まらないっ

イっ...

**ポチャポチャ**

んん...あは...

**ポチャポチャ**

ズズ...

あっ♡

はっ♡

くあっセイバー  
それ以上したら  
またっ...:

きてシロウっ

貴方のっ膣にっ  
貴方ので満たしてっ

はっ♡

あっ♡

なか...

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡



あゝ

ああああああああ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ



は  
は  
は



私……どうしよう

セイバー？



辛くて……  
悔しくて……  
だってそれを  
抑えて抑えて……

王よ、貴方は  
人の心が  
分からない……



こんな、こんな  
幸せだなんて

泣いてしまう程幸せだなんて……

モグモグモグ

私はそれが  
自分の選んだ生き方と  
納得させて……

人並みの幸せなんて

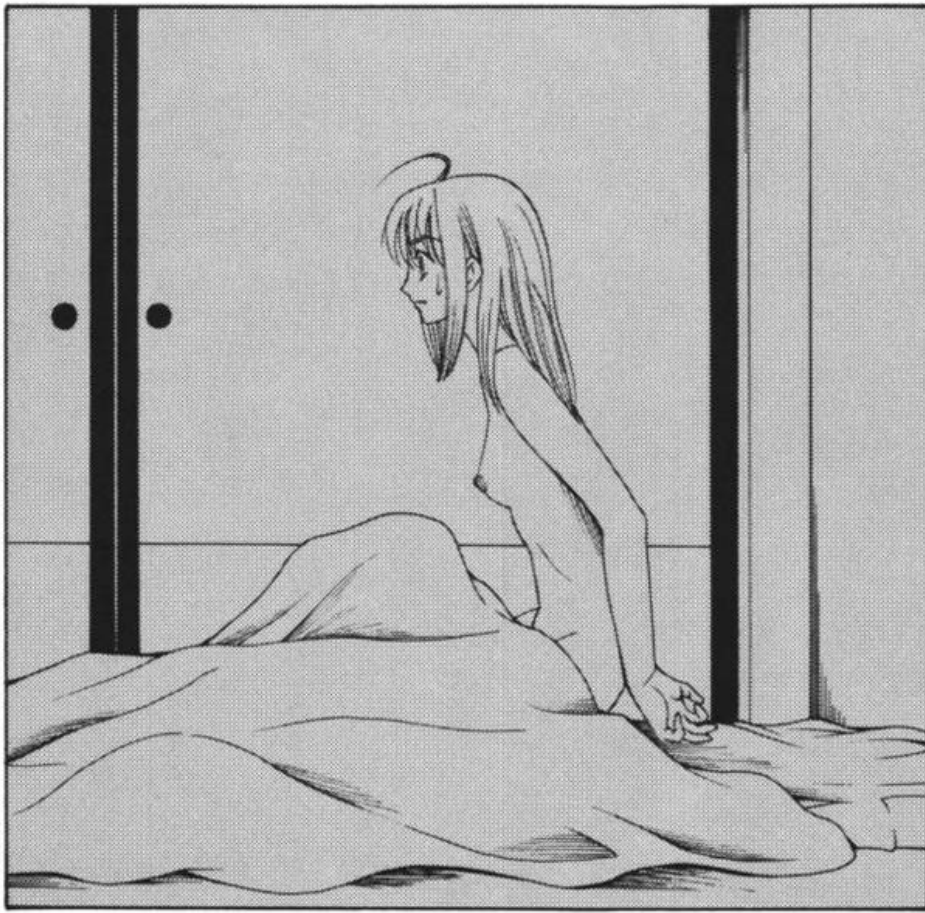
好きな人にこの身を預け  
愉悦に浸るなんて……

バカだな……  
サーヴァントとしての  
楔を断ち切った以上  
普通の幸せを感じないで  
どーすんだよ

お前の主を見てみろよ  
自分の人生思い通りに  
生きてるじゃないか

そうですね……  
凍を見習わないと……





シロウと肌を重ねた直後  
だったからだろうか

その晩見た夢は吐き気が  
する程後味が悪かった



147

身に余る幸せを  
夢想するなど、これ程  
自滅的なものはない

悪夢にうつつを  
抜かしていたせいで、  
教会に行ったシロウにも  
気づけなかった……

……







私には……  
私には……  
我慢なりませんっ……

このまま……  
このまま報われる事なく  
王を終えてしまわれるなど……



命を守るがいい



しかし王!



……私は

成した

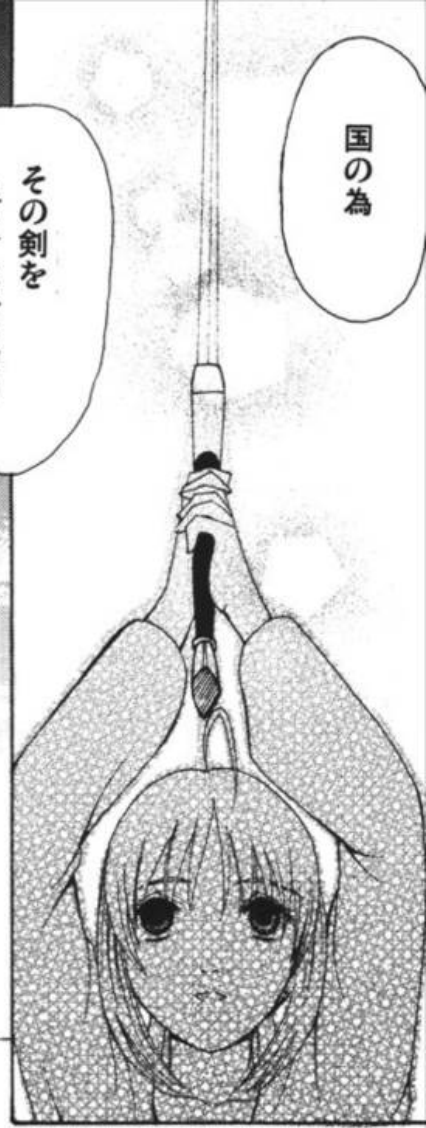


このまま  
孤独に……  
孤独でっ……

国の為

その剣を  
手にし王となり

我が宿願の為  
走り抜けた



己が目的の為  
その手で自らの  
マスターを殺せ

その暁には  
聖杯を与えよう

そこに  
一片の迷いは……



……きう

ない



そう

今まで  
そうしてきた

行け

そして命を  
守るがいい

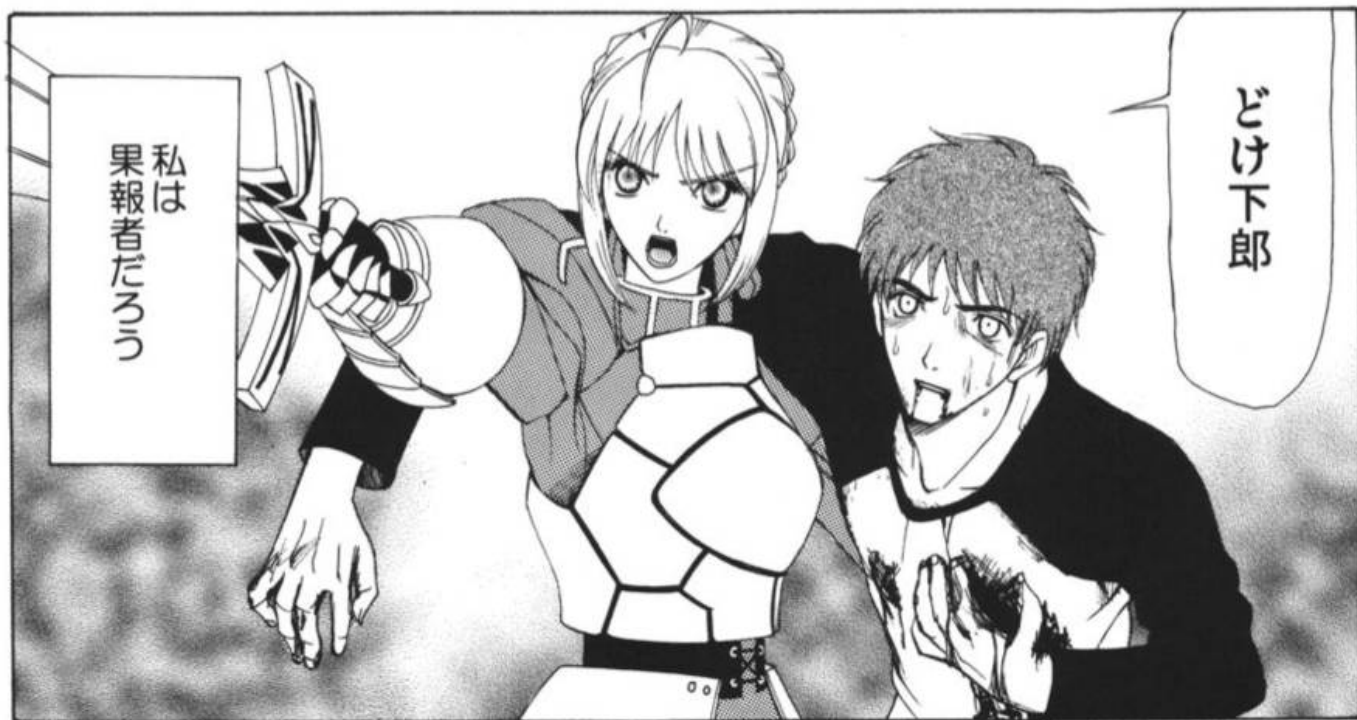
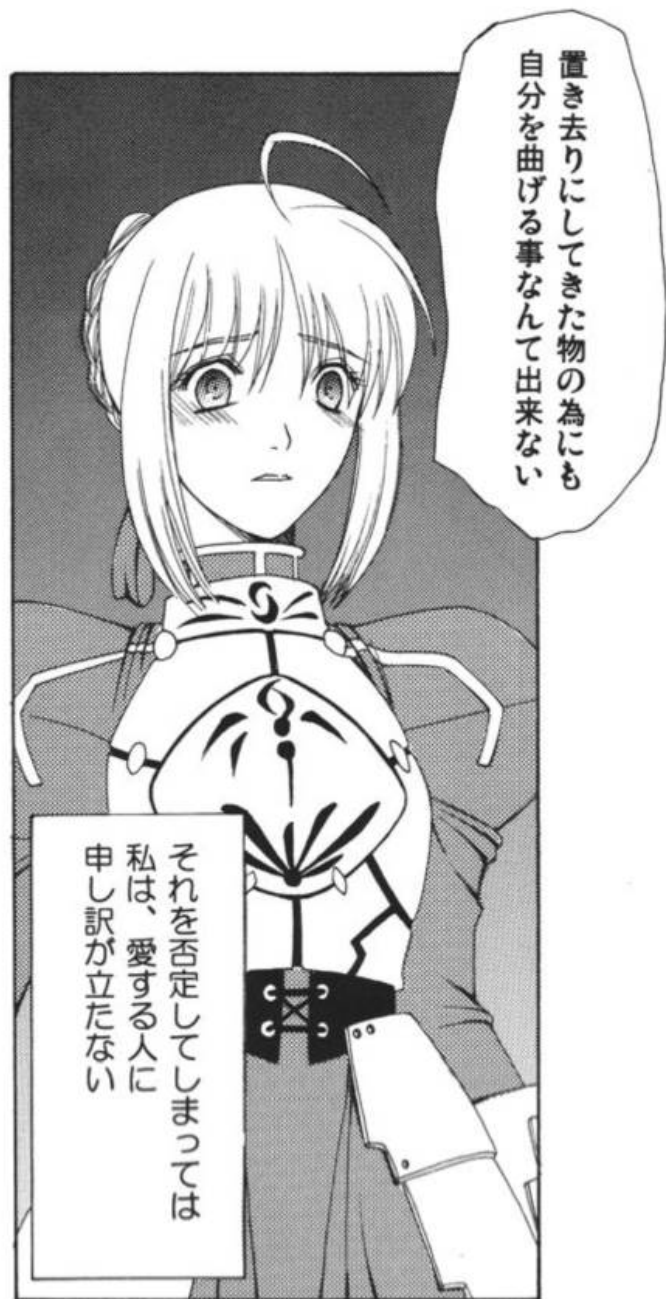
疑わす  
振り返らず

騎士として  
成すべき事を成せ

溢れる後悔と

それ以外、我らに  
何が出来よう？

懺悔と共に



アルトリアの夢も

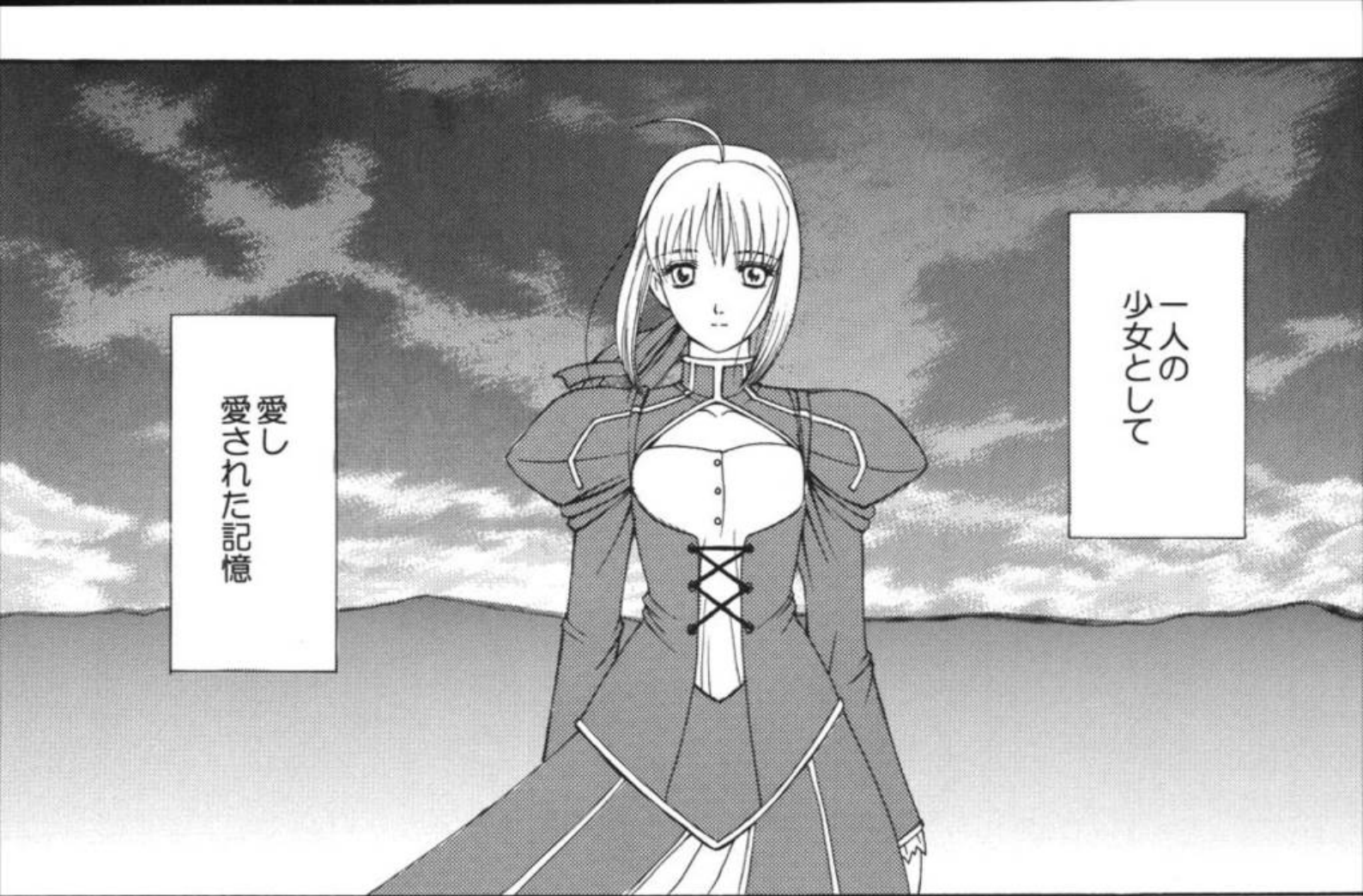
叶えてしまった

身に余る幸福を

願ってしまう  
程の想い

ア  
ル  
ト  
リ  
ア  
の  
夢  
も  
叶  
え  
て  
し  
ま  
っ  
た  
身  
に  
余  
る  
幸  
福  
を





一人の  
少女として

愛し  
愛された記憶

4



剣は  
湖の婦人の手に  
確かに



湖に剣を投げ入れて  
まいりました



すまないな  
ベディヴェイエル

今度の眠りは



155

忠義な部下も居た

我はアーサー・ペンドラゴン  
幼名はアルトリアにて  
ログレスの王



少し  
永く

我が魂はこの記憶と  
想いの誇りにあり



156

——世界よ  
この生涯に、感謝します



どうか灯火を頼って  
傾く世界に祈りを

凍えた心は家路に返して

もっと 側へ  
今は最高の魔法で  
積もる雪も翼に変え  
貴方の肩を 温めよう  
眠れるまで

希望の瞳を落としても

それを探す腕は残って居るから

忘れないで  
約束なんて要らない  
寒い夜も奇跡に変え  
貴方の元へ 飛んで行こう  
どこに居ても

この静寂なぞる不安さえ抱いてあげよう  
負けない力で

強く

もっと 側へ  
今は最高の魔法で  
積もる雪も翼に変え  
貴方の肩を 温めよう  
眠れるまで

King of Solitude / 鬼束ちひろ

夜に咲く魔法



私はライダー

今日は一日  
良く働いた

今宵は何人かの夢間を  
辿らなければならないだろう

まずは

間桐桜のサーヴァント

魔力を大量に消費した日は  
眠っている者に淫夢を見せ  
幾許かの魔力を頂戴する

なななな  
アーチャー服服!

遠坂凛…





森での戦いが  
どれ程だったか  
分かるだろう？

っていうか  
生きてたのね！

ああ  
ココに戻るの  
精一杯だったよ



片手でさえきちん  
と物質化出来ない

服を纏う等  
無理に決まっている

尊大な主ならば  
こういった場合

従者にどういった  
施しをするか…



心得ている  
だろうか？

…何よ…それッ…

生きて  
戻ってきたのだ

バカアーチャー……ッ

マスターと  
サーヴァントとの交わりが  
どれ程官能的で  
狂おしいかわかるか？

それを知った者は  
不幸としか言いようが無い

他の者とはそんな快楽は  
得られないのだからな

いびつに煌くこの想いを  
どう鎮められるかは  
君とて分かるだろう？

ズルイ位が君には  
丁度いいだろう

…相変わらず  
口の減らない  
ヤツね…

ちゃんと逃げ場を  
与えておく  
我ながらいい従者  
だと思っただがね…





君の吐息にずっと  
耳を傾けていても  
いいのだが？

あっ  
くっくっおしゃべりっ…



ん？なんなら  
一言も喋らず

最低ねッ…

最高の間違い  
だろう？



君のココは  
もうこんなに  
濡れていて…

最高だ

ああっッ♡

あっ…やっあっっ

はっ…あっ…

くっくっ訂正ッ  
オヤジっ…



いや、理想の果て  
夢想の挟間に消えるのも  
私に相応しいだろう

はあ

アーちゃっ………？

ん  
あ

あああああ  
あーっ  
あーっ  
あーっ

あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ





……主人とサーヴァントの  
夢魔を覗くのは辛い……

後々その成り行きを知るとなると  
切なさばかり残ってしまう



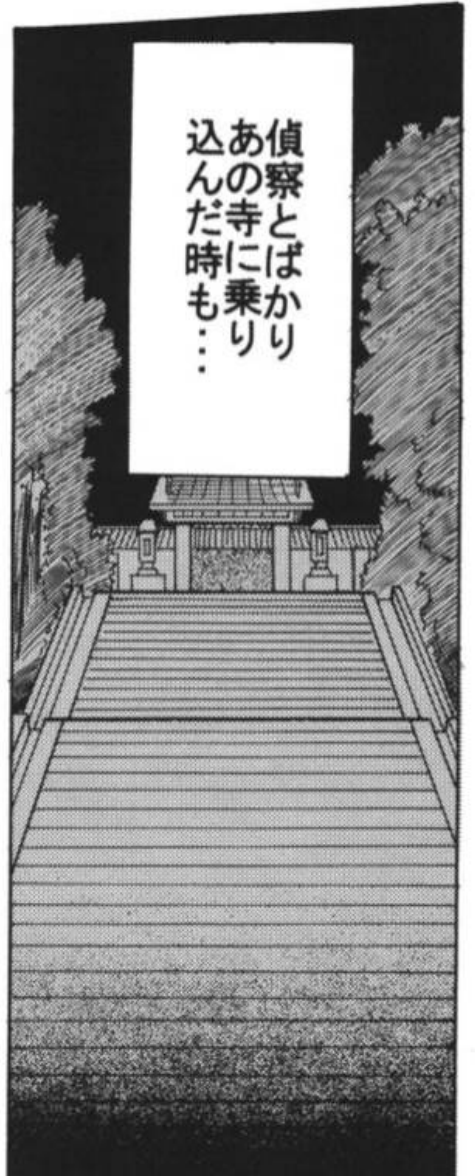
……

今日もいい  
天気ですよ



宗一郎様

宗一郎様  
朝ですよ



偵察とばかり  
あの寺に乗り  
込んだ時も……

朝食もう  
出来上がって  
ますからね

あ、コレは……  
そのっ……

カアアアッ

一成様が御学友にこの姿で  
迫りたいと仰っていたのを  
参考にしたのですが……

……

その格好……

申し訳ありません  
朝からこんな  
はしたない格好で……

着替えて  
参りま……

ひあっ？

おき

おき

あ

ああ

ぬい

びん

宗一郎様！？



濡れてるな...

宗一郎様ツ...

いけません  
朝からこんな...

我々は夫婦を  
演じなければならぬ  
こうなる事を予見  
しての演出だろうか？



ならば何を拒む



あーっあーっあーっ

あそこがっ...

あーっ

ボる



あ、でもっ…朝食を  
取るお時間が…

朝食は君なの  
ではないか？



さ、極部を晒し  
迎え入れる用意を

脱ぎっ



いえ、貴方…

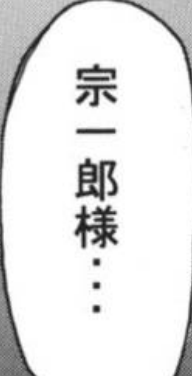
はるる…

早く…  
早く入れて下さいッ…



はあッ

むぢぢ



宗一郎様…



いいっあぁっ

あああああっ

宗一郎っ

しゅあぁ



もっひょっ...

もっと満たしてッ

もっと宗一郎様っ...

もっ...



貴方で私を  
満たしてっ...

貴方のでっ...

ボキ

ボキ

ボキ

ボキ







ふー一杯出たねえ  
ハイ、これで  
いいでしょ？

おははは

美味しいわ

え？コレで  
お終い？

信じられない…今  
出したばっかじゃない…

…シロウ  
何甘えてるのよ

トキキ

だってまだ…

しょうがないなあ

お姉さんとしては  
最後まできちんと  
付き合わないとね…

イリヤだって…  
濡れてるじゃないか…

…こんな風に仕込んだのは  
…イリヤじゃないか…

そりゃあれだけ精液  
飲ませられれば  
ジュンときちやうよ…

しっしょん

シロウは  
そのまま...

くっ...

あっ...

あっ...  
あっ...

あっ...

あっねっ  
イイよおっ

はあっっっ

ん...あ...硬い...

シロウのチンコ  
奥に響くうッ

ゴゴゴ

イリヤ...:  
イリヤ好きだ...

何よ改まって  
バカねえ...

本当、シロウは  
甘えたさんだ...

ねっ

あっ♡



くっ…  
イキそうッ…

いっわっ…

あっあっ…

ズッ  
ズッ  
ズッ

ズッ  
ズッ  
ズッ

ホラそのままっ  
奥にッ…

きっ  
出っ

あっシロウッ

ズッ  
ズッ  
ズッ

ズッ  
ズッ  
ズッ

イリヤっ…  
出るっ…

シロウッシロウッ

ズッ  
ズッ  
ズッ

ズッ  
ズッ  
ズッ

私を受け止めて  
あげるっ…

いっくっ…

いっちやうっ

いっ

ズッ  
ズッ  
ズッ

ズッ  
ズッ  
ズッ

ズッ  
ズッ  
ズッ

イリヤ……  
もう一回……

え……？！もう  
しょうがないなあっ

………こうも  
あつげらかんとしてると  
清清しく思えるから

ダメ……だん  
ん……  
ん……  
ん……

不思議です……

もう一人……

……明日は  
今日以上に  
働くだらうから

立場を反転させた  
貴女は一体どんな  
夢を見る……

今戻った



あっ王様  
お風呂にしますか？  
それともお夕食に…

もみもみ  
もみもみ

まずは食事を…  
今日の夕食は？



シロウの  
裸エプロンに  
御座います！



はっ

…よろしい



獅子王様

殿御のくせに  
はでしたくない  
姿ですわね



………



はわっ

水る

びらっ

こんな到我慢  
汁を垂らして…  
勿体無い…

あっ…セイバー様っ

あほ

あほ

あほ

あほ

あほ

あほ

あほ

あほ

あほ

あほ

あほ

うんうんうんうん



三日…溜めてた…



…出るっっ

くあっ…  
もう限界っ

とくせいでしょっか…



!!!

あほ

あほ



でも  
コレだけ  
では...

どうして出した  
ばっかなのにこんな  
カチンコチンでっ...

私が満足するまで  
頑張って貰わないと

大丈夫その分  
貴方にも

これ以上ない程の  
快楽をあげるわ

ええっ？

どう？どうなの  
私のオマンコ

シロウの毛熱くて  
硬くて素敵...

いいわきて  
ホラ

腫出しなさい  
なさい！

キツくてっっ...  
すぐ出ちまうっ...

おまねおまねおまね

おまんこおまんこ

おまんこおまんこ

おまんこおまんこ

おまんこおまんこ

おまんこおまんこ

おまんこおまんこ

くうっっっ

まだよ

あっ今まだ  
刺激がっ...

持っ上っ

ぬぐいぬぐい

ガッ

ゴッゴッ

ぐちゃぐちゃで  
泡立ってる

ぬぐいぬぐい

シロウの精液で  
私のオマンコ

あゝ...っ出てる...  
びゆくびゆく脈打つ  
のが分かる...

ゴッゴッ

びんびん

いやらしいくて素敵...

アキッ

いやらしい...

あっ

素敵よシロウ  
でも...

は

は

は

は

は

は

は

は

ホラどう？  
気持ちいい？

あっ…せつ  
セイバー様…

本来なら  
孕んでしま  
うでしょう…

こんな一杯  
精液を膣に  
放出したら

何てさもし  
いのでしょ  
うシロウ

何て淫らな  
んでしょう  
シロウ

あ、今度  
は一緒につ  
く…

くあつセイ  
バー  
またツ…

イクっ  
イクっ  
イクっ





貴方達ね

あれがかつて誇り高き  
セイバーだったとは…

……!

黒化すると…

あそこまで  
欲深になるので  
しょうか…

……

今日は  
ここままでとして  
おきましよう

えっ? ちょっと  
待ってよ!  
私、私の番は?

おん  
マクダム

ここは私とシロウの  
甘い姉弟妄想で  
める  
トコじゃないの?

W.L.M.C. 100

え、誰も望んじやない?  
嘘、嘘、うってそんなの  
ナシ!

まあちょっと  
待ってよ  
話そうよ  
話あおう  
そうしよう

ダメ待って待って

お待ちになって  
ヘヘヘヘ

Fate/stay night



### 「春を待つ人」

(初出「春を待つ人」2004/5)

ノーマル ED で桜に転んで書いたお話。うららにとって桜トゥルーはムシが良すぎなので、ノーマル EDの方が好きです。  
凜の孫が女の子って勝手に捏造。捏造大好きイエーイ(死)。

### 「カミツキマガウタ」

(初出「ローレライ～漂白の空」2004/8)

タイトル変えました。こちらは桜トゥルーED 後ベースで  
生き残った士郎は犠牲にしたイリヤに心を囚われたままで、  
それでも桜にしてみれば、生きてくれてれば問題なし、ずっと先輩に側に居れるからと  
相変わらず女の狂気丸出しな怖さを感じを意図しました。

### 「聖女陵辱妄想」

(初出「ambient jazz party」2004/10)

エロ本の中から抜粋。ぶっちゃけセイバーの習作。  
ネームというか、文章がステキすぎて笑えませんか。ダメですか。そうですか。  
すみません……。

### 「追憶の刺激」

(初出「Fate/stay night コミックアンソロジー VOL.5」2004/11)

アンソロに掲載された事峰話。実は中盤の事峰自己語りは、  
当初在りし日の奥さんとのやり取りで構成されてたのですが、  
メーカー側から変更の依頼があって今のカタチに。事峰沢山描けて楽しかったなあ。

### 「ロスタイム」

(初出「Fate/stay night コミックアンソロジー VOL.6」2005/1)

これもアンソロに掲載されたもの。今年発表ですが、描いてたのは去年末でした。  
「カミツキマガウタ」はイリヤ視点で描かれた話ではなく、  
彼女自身の心情をフォローし切れてない感じがあったので、ここでリベンジ。

### 「獅子の涙」

(初出「獅子の涙」2004/12)

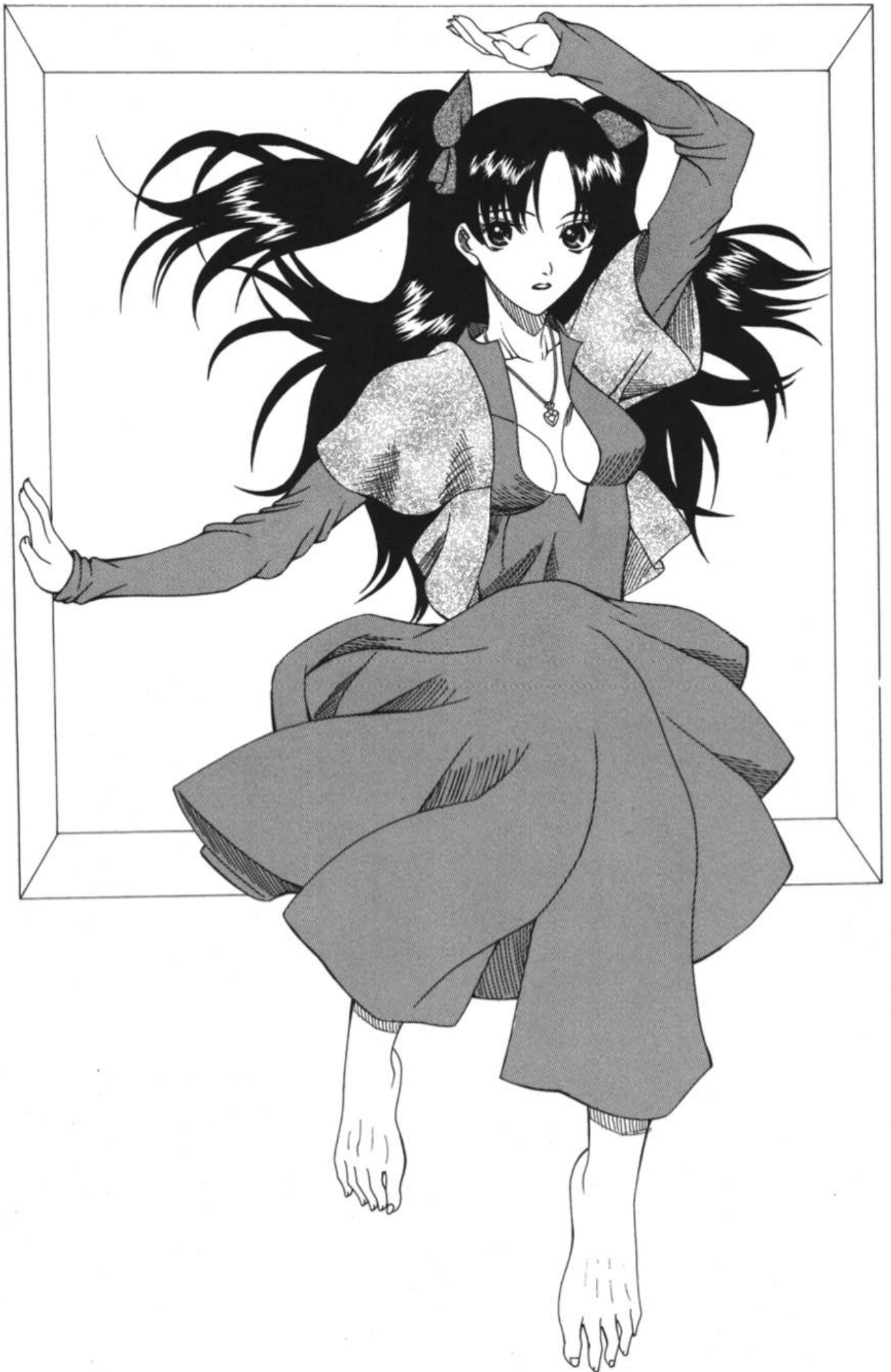
セイバー、ゲームしてた時は全然ピンと来なかったのに、  
これを描いてから好きになりました。取り合えず腹ペコネタは封印、  
とかいってネーム切ったんですが、やはし食卓の場面は出ちゃいましたね……。  
アーサーベンドラゴンとかログレスの王とか、短い時間で付け焼刃的に  
アーサー王伝説の単語散りばめる辺り、あざといっっちゃうかダサいっっちゃうか……。

### 「夜に咲く魔法」書き下ろし

バカなノリのエロコメと思って下さい……。

おまけの割りにページ数多いしサービスサービスうみたいな?(死)  
葛木漫画初描きですよ!!





Special thanks

外木さん、宮内さん、あーちゃん  
あとイラスト寄稿して下さったヒノエさん、せんきう。

後書きです。

ここまで読んで下さって有難う御座いました。

取り合えずコレにてナイフエッジの Fate/stay night 本は一区切りです。

今後はどーなるか分かんないデス。

でもどーかなー、やはし冬コミはアタクシア本出すのかな。

ゲーム自体は絶対プレイすると思うので、

気になる方は今後もウチのサークルチェックして頂けると有難いです。

それではこの辺で。

機会があったらまたウチの本読んでやって下さいね。

商業誌もやってるのでヨロシクお願いします。

でわでわ、元気で居て下さい。

さきうらら 2005/夏

夜に咲く魔法

Book no.056 W.L no.100

2005年8月15日発行

発行:ナイフエッジ

発行者:さきうらら

印刷:懶プロス

この本の無断複製・複写・アップロードを禁じます  
また未成年者の購買購読を禁じます。

<http://www008.upp.so-net.ne.jp/atomiccafe>

[urara@sf7.so-net.ne.jp](mailto:urara@sf7.so-net.ne.jp)





“Fate / 2004 Rewind+”

Spring Come She Will

Loreley

Pussy Catz Daydream

Scence of Memory / Lostime / King of Solitude / The night falling

**2005  
SUMMER  
KNIFE EDGE  
SAKI URARA  
Fate/stay night  
RECOLLECTIONS  
200404-200412**

Book no.056 W.L no.100

平成17年8月14日発行 / 発行:ナイフエッジ / 発行者:さきうらら / 印刷:懶プロス  
<http://www008.upp.so-net.ne.jp/atomiccafe> / [urara@sf7.so-net.ne.jp](mailto:urara@sf7.so-net.ne.jp)

この本の無断複製・複写・アップロードを禁じます。また未成年者の購買購読を禁じます